

保健衛生事業の概要

令和3年度実施

(令和4年度版)

四日市市

目 次

第1章 総説

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 概 要 | P. 1 |
| 2. 沿 革 | P. 1 |
| 3. 人 口 | P. 2 |
| 4. 保健所の組織及び事務分掌 | P. 3～ |

第2章 事業の実績

- | | |
|--------------|--------|
| I. 健康福祉課 | P. 5～ |
| II. 健康づくり課 | P. 15～ |
| III. 保健予防課 | P. 34～ |
| IV. 衛生指導課 | P. 65～ |
| V. 食品衛生検査所 | P. 76～ |
| VI. こども保健福祉課 | P. 80～ |
| VII. 保健所内 | P. 98～ |

第1章 総説

1. 概要

四日市市は三重県の東北部に位置し、西は鈴鹿連峰、東は伊勢湾に面して北勢の中心を占めている。面積は、206.52k m²。

平成19年10月21日に保健所政令市に関する政令が公布され、保健所の設置が承認された。所管区域は、本市の行政区域であり、これまで市が行ってきた母子保健、成人保健、老人保健などの業務に加え、三重県が行ってきた精神保健、難病、感染症、結核、食品衛生、医務、薬務、生活衛生などの、より専門的な業務を担当することとなった。それにより医療・福祉・教育などと連携した総合的な保健衛生行政を効果的に推進し、市民のニーズに応じたきめ細かい保健衛生サービスが可能になった。

2. 沿革

年 月 日	事 項
	【主な経緯】
平成 17 年 2 月 7 日	楠町との合併により、中核市要件を満たす。
平成 18 年 11 月 22 日	市長が20年4月の保健所政令市移行を目指すことを表明。
平成 19 年 10 月 21 日	政令公布 保健所政令市の指定に関する政令が公布され、保健所の設置が承認。
平成 20 年 4 月 1 日	保健所政令市移行に伴う機構改革により健康部が創設され保健所業務を所管する。
平成 21 年 9 月 24 日	保健所事務部門を県四日市庁舎より四日市市総合会館へ移設。 機構改革組織変更により、保健衛生検査室と食肉衛生検査所を統合し、保健所組織の食品衛生検査所とする。
平成 25 年 4 月 1 日	機構改革組織変更により、健康福祉部内に保健所を設置。母子保健についてはこども未来部の所管とする。
平成 26 年 4 月 1 日	四日市市食品衛生検査所新築に伴い、食肉衛生検査部門を県四日市庁舎より移転。

3. 人 口

1) 年次別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	世帯数 (戸)	人 口			人口密度 (1km ² あたり)	備 考
		総数 (人)	男性 (人)	女性 (人)		
令和 3 年	142,498	310,110	155,643	154,467	1,502	
2 年	141,768	311,716	156,413	155,303	1,510	
元年	139,718	311,470	156,038	155,432	1,509	
平成 30 年	138,279	312,258	156,252	156,006	1,513	
29 年	136,033	311,874	155,544	156,330	1,511	

2) 年齢階層別人口推移

(各年 10 月 1 日現在)

年 次	人口総数 (人)	年少人口※1		生産年齢人口※2		老年人口※3	
		実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)	実数(人)	構成比 (%)
令和 3 年	310,110	38,255	12.3	190,994	61.6	80,861	26.1
令和 2 年	311,716	38,997	12.5	192,190	61.7	80,529	25.8
元年	311,470	39,335	12.6	192,099	61.7	80,036	25.7

※1 年少人口 0～14 歳 ※2 生産年齢人口 15～64 歳 ※3 老年人口 65 歳以上

[年少・老年・従属人口指数及び老年化指数] 令和 3 年 10 月 1 日現在 () 令和 2 年

・年少人口指数	20.0 (20.3)	・老年人口指数	42.3 (41.9)
・従属人口指数	62.4 (62.2)	・老年化指数	211.4 (206.5)

年少人口指数 = 年少人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

老年人口指数 = 老年人口 ÷ 生産年齢人口 × 100

従属人口指数 = (年少人口 + 老年人口) ÷ 生産年齢人口 × 100

老年化指数 = 老年人口 ÷ 年少人口 × 100

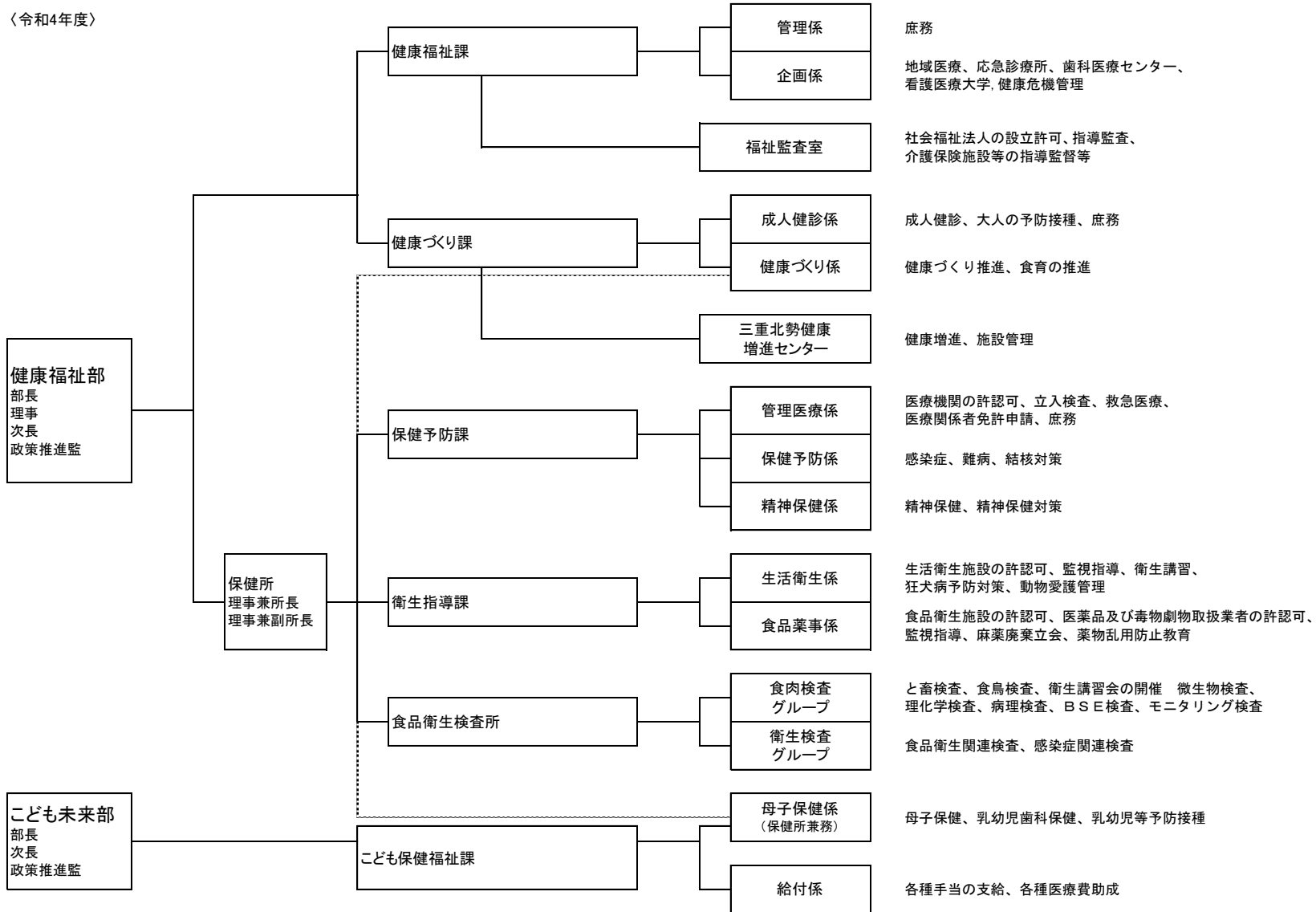
4. 保健所の組織及び事務分掌

職員配置(令和4年4月1日現在)

	医師	歯科医師	獣医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	歯科衛生士	理学療法士	作業療法士	管理栄養士	臨床検査技師	診療放射線技師	その他の職種	事務職	会計年度任用職員 (フルタイム)	再任用	合計
健康福祉部																		
部長															1			1
理事、保健所長	1																	1
理事、保健所副所長															1			1
次長、社会福祉事務所長、こども未来部次長															1			1
次長															1			1
参事			1		2										2			5
政策推進監															1			1
健康福祉課	課長(健康福祉部参事兼務)														(1)			(1)
	課長補佐														1			1
	管理係														3			3
	企画係														3			3
福祉監査室														2(1)		1	3(1)	
健康づくり課	課長														1			1
	課長補佐・成人健診係長					1												1
	成人健診係					2(1)		(1)							3			5(2)
	健康づくり係					4					3					(1)		7
健康増進センター																4	4	
健康福祉部保健所																		
理事兼所長	(1)																	(1)
理事兼副所長															(1)			(1)
保健予防課	課長(健康福祉部参事兼務)					(1)												(1)
	副参事・課長補佐・保健予防係長					1												1
	課長補佐・精神保健係長														1			1
	管理医療係					1									3			4
	保健予防係					6(1)									7			13(1)
精神保健係					4									2(1)			6(1)	
衛生指導課	課長(健康福祉部次長兼務)														(1)			(1)
	副参事、課長補佐					2												2
	生活衛生係			2											2			4
食品衛生検査所	食品薬事係			1	5										1			7
	所長(健康福祉部参事兼務)			(1)														(1)
	副参事・副所長			1														1
	食肉検査グループ			11(1)											1			12(1)
衛生検査グループ											4			1		(1)	5	
こども未来部																		
部長															1			1
次長、保育幼稚園課長															1			1
次長、健康福祉部次長														(1)				(1)
政策推進監															1			1
こども保健課	参事、課長														1			1
	副参事、課長補佐					1												1
	給付係														11		(1)	11
母子保健係					15	1	1			1(3)						(3)	18(3)	

()内の数字は再計

〈令和4年度〉



第2章 事業の実績

I. 健康福祉課

1. 四日市市安心の地域医療検討委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面で開催した。

	開催日	内容
1	令和3年8月25日(水)	1. 報告 ・令和2年度在宅医療推進事業実績報告について (ケアマネジャー向け研修会について) ・令和2年度四日市市在宅医療・介護連携支援センター(つなぐ)業務実績について ・令和2年度地域ケア会議の実績について 2. 協議 ・改訂版退院時カンファレンスマニュアルについて ・医療と介護の連携シートについて

2. ケアマネジャー向け研修会

在宅で問題になりやすい疾患の基礎知識を学ぶことにより、適正なケアプランの策定に資する。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、YouTubeの四日市市アカウントを利用して講義ごとに動画を掲載する形で開催した。

	講義内容	参加人数 (令和4年3月31日時点)
1	「寸劇から学ぶ!お薬手帳の正しい使い方 地域包括ケアシステムの構築に向けて」 四日市薬剤師会	190人
2	「口腔ケアについて」 歯科診療所ひまわり 院長 井上 博氏	165人
3	「知って得する糖尿病の基礎知識 2021」 四日市糖尿病クリニック 看護師 関根 智子氏	187人
4	「疾患からくる浮腫みについて」 四日市内科ハートクリニック 理事長 三原 裕嗣氏	199人
5	「介護保険のリハビリを活用する時に」 みえ医療福祉生活協同組合 理学療法士 徳力 康治氏	203人
6	「訪問栄養指導 高齢者の低栄養について」 管理栄養士 藤田 みどり氏	199人

7	「排尿管理について ～軽尿道的留置バルーンカテーテルの解説を中心～」 落合クリニック 院長 加藤 研次郎氏	185 人
8	「ケアマネジャーとして知っておきたい入退院日数の目安 急性期病院の入退院支援」 三重県立総合医療センター 地域連携課 大川 恵美氏	196 人
9	「がんの痛みの治療」 笹川内科胃腸科クリニック 院長 山中 賢治氏	178 人

3. 訪問看護師関係研修事業

1) 在宅看護の基礎講座

潜在看護師や訪問看護に興味のある現役看護師が在宅看護について必要な基本的知識・技術を習得するための研修を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学実習を除くすべての講義を受講者の希望により対面及びZoomで開催した。

①日時、講義内容

※いずれも土曜日（見学実習を除く）

10:00～11:30、13:00～14:30

(1・2についてはYouTubeによるオンライン上映)

	開催日	講義内容	講師
1	9/25	オリエンテーション 在宅看護総論	川島 典子氏 (四日市医師会訪問看護ステーション)
2	10/2	在宅看護対象① 療養者の特徴	東川 亜依子氏 (四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション)
3		在宅看護対象② 介護者としての家族の特徴	春名 誠美氏 (四日市看護医療大学 在宅看護学領域)
4		在宅看護技術論	森 あゆみ氏 (訪問看護リハビリステーションあすか)
5	10/9	在宅看護管理論① 介護保険、医療保険	永田 三津子氏 (ときわ訪問看護ステーション)
6		在宅看護管理論② リスクマネジメント	中村 いお美氏 (ナーシングホームもも 四日市)
7	11/11～15 の間で0.5日 見学実習		四日市市内の訪問看護ステーション
8	10/16	ケアシステム論	多田羅 紀子氏 (四日市市在宅医療・介護連携支援センター)
9		まとめ	多次 淳一郎氏 (四日市看護医療大学 在宅看護領域)

②受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	1人
潜在看護師	1人
病院看護師	2人
合計	4人

2) 訪問看護基礎研修

看護職として在宅ケアに携わるための基盤となる知識の習得を目的とした研修を実施した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、見学実習を除くすべての講義を受講者の希望により対面及びZoomで開催した。

①日時、講義内容

※いずれも土曜日（見学実習を除く）

10:00～11:30、13:00～14:30

	開催日	講義内容	講師
1	9/25	オリエンテーション 訪問看護総論	川島 典子氏 (四日市医師会訪問看護ステーション)
2	YouTube によるオンライン上映	訪問看護対象論	東川 亜依子氏 (四日市羽津医療センター附属訪問看護ステーション)
3		訪問看護方法論① 訪問看護過程への理論・モデル応用	多次 淳一郎氏 (四日市看護医療大学 在宅看護学領域)
4	10/2	訪問看護方法論② 訪問看護で必要な技術	森 あゆみ氏 (訪問看護リハビリステーションあすか)
5	10/9	訪問看護管理論① リスクマネジメント	中村 いお美氏 (ナーシングホームもも 四日市)
6		訪問看護管理論② 訪問看護に関わる制度	永田 三津子氏 (ときわ訪問看護ステーション)
7	11/15～19の間で0.5日 見学実習		四日市市内の訪問看護ステーション
8	10/16	ケアシステム論 多職種理解と協働	北井 真紀子氏 (四日市看護医療大学看護医療学部看護学科 在宅看護学領域)
9		まとめ	多次 淳一郎氏 (四日市看護医療大学 在宅看護学領域)

②受講者内訳

受講者内訳	受講者数
訪問看護ステーション看護師	3人
病院看護師	1人
合計	4人

3) 訪問看護師スキルアップ

訪問看護ステーションの訪問看護師が、身近なところで必要な知識・技術を修得できる場として研修を開いた。今年度は、メインテーマを「療養者・家族の自立と安全な暮らしを支える看護」として、四日市地域の訪問看護師のスキルアップを図ることを目的とした研修を実施した。

(6についてはYouTubeによるオンライン上映)

	開催日	講義内容	講師	申込人数
1	12/10※	訪問看護技術① 食べることの支援	深津 ひかり氏 (ふかつ歯科副院長)	8人
2	10/8	訪問看護と危機管理① 在宅で実践できる感染対策	脇坂 浩氏 (浜松医科大学医学部看護学科教授)	9人
3	11/5	対象別訪問看護～小児科～ 病気や障害とともに暮らす子ども と親を支える訪問看護～家族や訪問 看護師に求める役割～	筒井 みどり氏 (ナーシングホームもも桑名) 利用者ご家族	10人
4	12/3	訪問看護技術② 動くことの支援	加藤 康太氏 (主体会病院回復期リハビリテーシ ョン病棟 理学療法士)	4人
5	1/7	訪問看護と危機管理② 災害対策	河原 宣子氏 (京都橘大学看護部教授)	12人
6	2/4～18 YouTubeによる オンライン上映	働く訪問看護師のためのセルフメ ンタルケア	畑中 三千代氏 (日本たばこ産業株式会社 東海支 社保健担当)	25人

※9/3に開催する予定だったが、緊急事態宣言の発令により12/10に延期となった。

4) 看護師派遣研修事業

在宅医療に対する研修事業に協力してもらえる訪問看護ステーションを募り、病院や介護事業所に勤務する看護師を協力訪問看護ステーションへ派遣(1人原則1日)し、病院から在宅への移行をより円滑に行い、市民が安心して在宅療養生活を送ることができるように研修を実施した。

○研修参加者 9人(延べ10日間)

派遣元内訳：四日市羽津医療センター 1人、県立総合医療センター 5人、富田浜病院 2人、市立四日市病院 1人

4. 在宅医療支援病床確保事業

在宅療養者及び家族が安心して療養生活が送れるよう、在宅主治医（かかりつけ医）が、在宅患者の入院が必要と判断したとき、スムーズな受け入れができる体制を地域で構築することを目的とした事業を実施した。

※事業対象となる例：肺炎等により発熱、食欲低下により全身状態悪化（生命に関わる程ではない）等、このままでは脱水症状、安静による運動機能低下等がおこり、在宅でのQOL（生活の質）の低下が予測される場合など。

※協力医療機関：石田胃腸科病院、小山田記念温泉病院、佐藤クリニック、主体会病院、富田浜病院、みたき総合病院、山中胃腸科病院（計7カ所）

※利用期間：1回につき14日間以内

1) 利用状況

	利用件数	参考
令和3年度	10件（延べ110日間）	平成30年度 13件 （延べ142日） 令和元年度 9件 （延べ106日） 令和2年度 12件 （延べ135日）

5. 在宅医療啓発活動補助事業

在宅医療の啓発を行う市民活動について経費の一部を補助した。

	団体名	事業名・内容	講師	開催日・人数・会場
1	PPKほぼ	令和3年度 PPK ほぼ講演会 ○在宅医療と介護のシステム、高齢者の病気や病院のかかり方等について講演会を行う。	山中胃腸科病院 淵田 則次氏	令和4年3月1日(火) 12名 保々地区市民センター会議室
2	桜地区社会福祉協議会 (中止)	福祉セミナー 「在宅医療」について ○住み慣れた家で最期を迎えることが出来る在宅を支える在宅医療について学習する。	—	—

3	三重北社会福祉協議会	講演会①「在宅医療の現状と今後」 ○在宅医療の現状と今後を知ることで、在宅医療を身近なものとして考えてもらおう。	—	—
4	三重北社会福祉協議会 (中止)	講演会②在宅医療の現状と今後」 ○在宅医療の現状と今後を知ることで、在宅医療を身近なものとして考えてもらおう。	—	—
5	県地区社会福祉協議会	最期まで自分らしく生きる為に・・・その3 「医療と介護サービスを受けて、自宅で暮らすためには」 ○終末期に至るまでの医療や介護サービスにはどのようなものがあるのか、家族の負担を軽くするためにはどうしたら良いのかを研修する。	デジコ在宅介護サービスセンター 廣瀬 磨由子氏	令和3年12月11日(土) 29名 県地区市民センター会議室・(リモート会場 あがたが丘集会所ホール)
6	三重西社会福祉協議会	三重西地区の高齢者等が団地の特徴とも言える一人暮らし、高齢者のみの世帯が多い状況から、在宅で安心して健康な生活を続ける上で、寝たきりに通じる危険性が高い転倒を避けるために「転倒防止研修」を実施する。	高齢福祉課 中 猛則氏 服部 徹氏 NPO 法人ライフサポート三重西 菅瀬 博文氏	令和3年11月27日(土) 42名 三重西小学校体育館
7	羽津地区まちづくり推進協議会	ターミナルケアと在宅介護・尊厳死、在宅介護の現状等について考える。	一般社団法人あした葉 代表 伊世 利子氏	令和4年2月13日(日) 11名 羽津地区市民センター大会議室
8	特定非営利活動法人元気な笑顔	在宅医療の体験談を通して講演を行い、より身近な出来事として家族間で話し合う機会としてもらう。	富田浜病院 中根 慶太氏	令和3年11月27日(土) 29名 富田地区市民センター2F ホール

6. 在宅医療・介護連携支援事業

平成 29 年 5 月に四日市市在宅医療・介護連携支援センター（愛称：つなぐ）を開設し、医療・介護関係者からの相談支援を行うなど、更なる連携強化に努めた。

1) 相談件数

	医療機関からの相談	介護機関からの相談	合計
相談件数	449 件	586 件	1,035 件

2) 訪問件数

	医療機関への訪問	介護機関への訪問	合計
訪問件数	26 件	170 件	196 件

7. 介護・看護人材育成研修

2040 年(令和 22 年)には 65 歳以上人口が最大となり、介護を必要とする人が増加すると見込まれるなか、介護現場等における介護職・看護職の不足が懸念されていることから、各職種のスキルアップ研修を実施し、市内の介護現場への定着、就業意欲が高められるよう支援をした。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン形式で開催した。

《介護職向けスキルアップ研修会》

(実務経験 5 年未満者対象)

※いずれも土曜日：9：30～12：30

	開催日	講義内容	講師	人数
1	2/5	介護現場で生きる介護過程の展開と情報収集	専門学校ユマニテク医療 福祉大学校 介護福祉学科 酒井 夕香子氏	12 人
2	3/12	観察力で介護現場のリスクマネジメント	専門学校ユマニテク医療 福祉大学校 介護福祉学科 伊藤 幾代氏	

(実務経験 10 年以上対象)

※いずれも水曜日：9：30～12：30

	開催日	講義内容	講師	人数
1	3/16	根拠ある介護の実践に向けて ～介護で生きる介護過程の展開～ (理論編)	専門学校ユマニテク医療 福祉大学校 介護福祉学科 酒井 夕香子氏	16 人 (23 日は 1 名 欠席)
2	3/23	根拠ある介護の実践に向けて ～介護で生きる介護過程の展開～ (実践編)		

《看護職向け研修会》

※いずれも金曜日：リモート視聴 18:00～19:30

	日時	テーマ	講師	申込人数
1	11/26※	基調講義 看護の基本：食べる・出す・寝る、を整える	菱沼 典子氏 (三重県立看護大学 学長)	31人
2	10/8	施設看護に活かす知識と技術① 食の援助	刀根 奈穂子氏 (ナーシングホームもも)	17人
3	11/5	施設看護に活かす知識と技術② 排泄の援助	久保田 千代美氏 (エンドオブライフ・ケア協会理事、P00 マスター)	17人
4	12/3	施設看護に活かす知識と技術③ 休息・看取りの援助	鈴木 裕美氏 (橋北楽々館在宅介護支援センター)	29人
5	1/7	施設看護における倫理的問題と対応	青木 智子氏 (ナーシングホームもも鳥取 施設長)	16人
6	2/18	施設で実践できる感染対策	脇坂 浩氏 (浜松医科大学医学部看護学科 教授)	20人

※9/17に開催する予定だったが、緊急事態宣言の発令により11/26に延期となった。

8. がん患者・家族支援事業

（「がん患者と家族の方のおしゃべりサロン」 in 四日市）

がん患者とその家族への支援のため、三重県がん相談支援センターの協力のもと、地域における情報交換と交流の場として、年2回サロンを開催した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月、12月開催日以外のサロンを中止とした。

1) 開催状況

※13:30～15:30 四日市市総合会館

開催日	人数	サポーター等関係者
8/3	2人	5人
12/8	1人	7人

9. 応急診療所事業

四日市市応急診療所において、休日における市民の一次救急医療を行った。

- ① 診療日 : 日曜日、祝（休）日、12月31日、1月1日、1月2日、1月3日
- ② 診療時間 : 10:00～12:00 13:00～16:00
- ③ 診療科目 : 内科、小児科、耳鼻咽喉科（耳鼻咽喉科は日曜日のみ）

1) 受診状況

年度	内科 (人)	小児科 (人)	耳鼻科 (人)	計 (人)	一日平均
					() は診療日数
令和3年度	627	790	279	1,696	24.23人(70日)
令和2年度	485	480	284	1,249	17.84人(70日)
令和元年度	1,648	2,137	597	4,382	62.60人(70日)

2) 運営委員会開催状況

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、Zoomを利用してオンライン上で開催した。

	開催日	議 事
1	11/2	1. 会長、副会長の選任について 2. 報 告 1) 修繕工事について 2) 今までの新型コロナウイルス感染症対応について 3. 議 事 1) 応急診療所における採用薬剤について（四日市薬剤師会様より） 2) 年末年始の新型コロナウイルス感染症対応について 4. その他

10. 歯科医療センター事業

四日市市歯科医療センターにおいて、障害者に対する歯科診療及び年末年始における応急の歯科診療を行った。

① 診療日及び診療時間

応急診療：12月30日、12月31日、1月1日、1月2日（9：00～11：30）

障害者（児）診療（予約制）：火、木曜日（13：30～16：30）

月概ね2回日曜日（9：30～12：30）

※祝・休日と12月28日～1月3日を除く。

1) 受診状況

年 度	休日診療			障害者診療			一 日 平 均 (人)
	診 療 実 日 数 (日)	受 診 者 数 (人)	1 日 平 均 (人)	診 療 実 日 数 (日)	受 診 者 数 (人)		
					延 数	新 患 再 掲	
令和3年度	4	47	11.8	91	1,727	593	19.0
令和2年度	4	68	17.0	91	1,728	656	19.0
令和元年度	4	80	20.0	91	1,662	904	18.3

※障害者診療日（日曜日等）に応急処置希望者の受診があった場合、対応可能な範囲で診療を実施した。

2) 運営委員会開催状況

	開 催 日	議 事
1	3/24	1. 令和2年度事業報告 2. 令和3年度事業経過報告 3. 令和3年度指定管理者の運営協議

Ⅱ. 健康づくり課

1. 成人保健事業

1) 健康管理のために

(1) 健康手帳の交付

健診・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理に役立てるために健康手帳を交付した。

交付者数（人）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
40歳～74歳	287	194	435
75歳以上	137	84	145
合計	424	278	580

平成30年度以降、厚生労働省のホームページから直接ダウンロードでの交付を併用

(2) 健康相談事業

健康相談を行い、市民の健康保持増進を図った。

実施状況 40～64歳【（ ）内は20～39歳】

	実施回数	相談延べ実施人数		
		令和3年度	令和2年度	令和元年度
あさけプラザでの相談	週2回	6 (0)	2 (0)	0 (0)
健康づくり課等での相談 (来所)	随時	0 (0)	1 (0)	0 (1)
電話による健康相談	随時	20 (3)	20 (1)	16 (4)
依頼による相談	随時	0 (0)	0 (0)	2 (1)
健康教育と併設	随時	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計		26 (3)	23 (1)	18 (5)

65歳以上は、3)介護予防事業の(1)健康相談に計上

(3) 検診等

疾病を早期に発見し、適切な治療及び生活習慣の改善につなげるため、各種検診を実施。

検診受診状況

区分	年度		40歳以上				40歳未満			
			対象者数 (人) ※1	受診者数(人) ※2			受診率 (%) ※3	受診者数(人)		
				地区 巡回	医療 機関	合計		地区 巡回	医療 機関	合計
胃がん検診	令和3年度	バリウム	78,823	1,740	3,317	5,057	7.3	0	0	
		内視鏡			9,939	9,939		0	0	
		合計		1,740	13,256	14,996		0	0	
	令和2年度	バリウム	76,804	0	0	0	6.9	0	0	
		内視鏡			0	0		0	0	
		合計		0	0	0		0	0	
	令和元年度	バリウム	77,007	2,549	3,857	6,406	10.7	0	0	
		内視鏡			5,881	5,881		0	0	
		合計		2,549	9,738	12,287		0	0	
乳がん検診	令和3年度		60,245	3,278	4,490	7,768	17.5	0	0	
		(エコー)		475		475		316	316	
	令和2年度		61,066	3,095	3,785	6,880	17.8	0	0	
		(エコー)		256		256		337	337	
	令和元年度		61,605	4,721	4,226	8,947	17.9	0	0	
		(エコー)		603		603		420	420	
肺がん・結核検診	令和3年度		123,503	2,907	11,637	14,544	5.3	0	0	
	令和2年度		124,466	4,560	8,369	12,929	4.3	0	0	
	令和元年度		125,489	5,301	9,700	15,001	5.3	0	0	
大腸がん検診	令和3年度		123,503	2,929	15,465	18,394	6.8			
	令和2年度		124,466	2,758	12,366	15,124	5.6			
	令和元年度		125,489	3,967	15,208	19,175	7.3			

検診受診状況

区分	年 度	20 歳以上の女性					
		対象者数 (人) ※1	受診者数 (人) ※2				受診率 (%) (20~69 歳) ※3
			地区 巡回	医療 機関	妊婦健診 での受診者	合計	
子宮頸がん検診	令和3年度	92,138	2,082	8,411	2,155	12,648	17.4
	令和2年度	93,445	1,919	6,866	2,136	10,921	17.4
	令和元年度	94,169	2,873	8,067	2,282	13,222	18.3
HPV 検 査	令和3年度		112	849	385	1,346	
	令和2年度		108	818	414	1,340	
	令和元年度		130	940	414	1,484	

※1 対象者数は、40～69歳(胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)を計上。

※2 受診者数は、40歳以上(子宮頸がん検診は20歳以上)を計上。

※3 受診率は、下記計算式にて算出。

(胃がん検診受診率算出方法)

= (「前年度受診者数(バリウム+内視鏡)」+「当該年度受診者数(バリウム+内視鏡)」-「2年連続受診者数(バリウム+内視鏡)」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

(乳がん検診・子宮頸がん検診の受診率算定方法)

= (「前年度受診者数」+「当該年度受診者数」-「2年連続受診者数」) ÷ 「当該年度対象者数」 × 100

受診率は、※1を分母とし、※2のうち、40～69歳(胃がん検診は50～69歳、子宮頸がん検診は20～69歳)の者を抽出し算出。

検診受診状況

区分	年 度	受診者数 (人)	
		医療機関	合計
検 査 肝 炎 ウ イ ル ス	令和3年度	104	104
	令和2年度	353	353
	令和元年度	130	130

さわやか歯科検診（歯周病検診）受診状況

年 度	対象者数 (人)	受診者数 (人)							受診率 (%)
		20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	70 歳	合計	
令和 3 年度	23,000	149	216	209	300	293	412	1,579	6.9
令和 2 年度	23,024	160	213	182	234	204	341	1,334	5.8
令和元年度	17,060			211	244	274	565	1,294	7.6

（４）健康増進法健康診査・保健指導

各医療保険による特定健康診査の対象とならない、生活保護受給者等の 40 歳以上の人を対象とし、メタボリックシンドロームの早期発見、予防改善のための健診及び保健指導を実施した。

健康増進法健康診査・保健指導受診状況

年 度	健康診査			保健指導							
				動機付け支援				積極的支援			
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)		受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)		受診率 (%)
初回面談					継続支援	初回面談			継続支援		
令和 3 年度	2,837	508	17.9	18	2	1	16.7	24	2	0	8.3
令和 2 年度	2,717	470	17.3	23	1	1	8.7	15	0	0	0
令和元年度	2,639	586	22.2	27	2	0	7.4	22	0	1	4.5

(5) 大人の風しん対策（風しん抗体検査・予防接種）

「先天性風しん症候群」の発症を防止するため、妊娠を希望している女性等を対象に風しん抗体検査及びワクチン公費助成（抗体価が低い人のみ）を行った。

また、今まで公的な接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い男性（昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれ）を対象に、風しんの追加的対策として抗体検査及び予防接種（抗体価が低い人のみ）を実施した。

受診・接種状況

		対象者	令和3年度 受診・接種者 数(人)	令和2年度 受診・接種者 数(人)	令和元年度 受診・接種者 数(人)
妊娠を 希望する 女性等へ の補助	抗体 検査	妊娠を予定又は希望している女性	163	190	301
		同居者	149	195	255
		風しん抗体価が低い妊婦の同居者	49	68	74
		合計	361	453	630
		風しんワクチン等接種公費助成	303	314	312
追加的 対策		抗体検査	3,326	7,232	3,111
		予防接種	774	1,521	849

(6) 大人の予防接種

① 高齢者インフルエンザ

インフルエンザの予防と重症化を防ぐために、高齢者に対してインフルエンザの予防接種を実施した。

接種状況

	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)	対象者数 (人)	接種者数 (人)	接種率 (%)
65歳以上	80,861	47,301	58.5	80,529	56,922	70.7	80,036	43,449	54.3
60～64歳	133	104	78.2	170	138	81.2	136	111	81.6

② 高齢者肺炎球菌ワクチン

高齢者の肺炎の予防と重症化を防ぐために、肺炎球菌ワクチンの予防接種を実施した。

接種状況

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)	65歳以上 (人)	60～64歳 (人)
定期 接種	2,849	14	3,074	19	2,837	18
公費助成	71		162		109	

2) 健康づくり支援

(1) 健康教育

各種教室を実施し、健康増進、疾病予防を図った。

実施状況

教室	年度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40歳以上	
					40歳以上	40歳未満
カラダスッキリ塾 (※1)	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	5	104	24	24	0
	令和元年度	5	205	48	47	1
青空教室 (※2)	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	2	64	64	64	0
保健事業指導者 支援事業 (※1)	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	2	81	81	69	12
	令和元年度	1	53	53	44	9
乳がん予防 健康教育	令和3年度	74	4,069	4,069	3,753	316
	令和2年度	81	3,688	3,688	3,432	256
	令和元年度	99	5,666	5,666	5,246	420
出前講座 (※3)	令和3年度	1	27	27	7	20
	令和2年度	7	216	159	107	52
	令和元年度	21	680	680	537	143
地区及び各種団体等 からの依頼	令和3年度	2	25	25	25	0
	令和2年度	2	64	64	64	0
	令和元年度	20	892	886	691	195
三重北勢健康増進 センター開催 健康づくり教室	令和3年度	95	712	193	191	2
	令和2年度	143	757	237	237	0
	令和元年度	143	1,180	392	383	9

(※1) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑み中止。

(※2) 令和2年度から実施。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑み中止。

(※3) 出前講座：令和元年度から「介護予防講座」メニューは高齢福祉課で実施。

(2) 健康ボランティア開催による健康教育

健康ボランティアによる、地域での健康づくりの啓発や教室を開催した。

実施状況

参加者数 (人)

年 度	ステキ健康サポーターによる活動	食生活改善推進員による活動
令和3年度	22,388	8,830
令和2年度	23,678	8,054
令和元年度	32,304	9,544

ステキ健康サポーター：生活習慣病予防をすすめるボランティア

食生活改善推進員：食生活改善をすすめるボランティア

(3) 健康ボランティア養成

運動実践や食生活の改善など地域で健康づくりを推進するため、健康ボランティアを養成した。

実施状況

教室	年 度	回数 (回)	参加者数 (人)			
			延人員	実人員	40歳以上	
					40歳以上	40歳未満
ステキ健康サポーター 養成講座 (※1)	令和3年度	1	6	6	6	0
	令和2年度	5	56	12	11	1
	令和元年度	5	82	19	19	0
食生活改善推進員養成 事業(栄養教室) (※2)	令和3年度	0	0	0	0	0
	令和2年度	7	99	15	14	1
	令和元年度	5	111	26	26	0

(※1) 令和3年度は、全5回中1回実施。2回目以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑み中止。

(※2) 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大状況を鑑み中止。

(4) 働く世代の健康づくり支援事業

① 地域職域連携推進協議会

地域保健と職域保健の連携により、働く世代の健康づくりに関する情報の共有や協働事業の実施等について協議する。

※新型コロナウイルス感染症の影響により書面会議に変更

開 催 日	議 事
令和3年8月26日(木) (書面会議)	令和3年度 健康づくり課事業の取り組みについて(経過報告)
令和4年3月10日(木) (書面会議)	令和3年度 健康づくり課事業の取り組みについて(報告)

② みんなの健康☆応援事業所登録事業

事業所の健康づくりを応援するため、登録事業所に対して毎月健康情報を配信し、事業所や従業員が健康づくりに取り組むきっかけを作る。

登録事業所数	(事業所)		
	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録事業所数	167	146	141
健康情報を提供している事業所数	499	430	430

(5) 啓発事業

市民が健康づくりに取り組むきっかけとなるよう啓発活動を実施した。

① がん検診受診について

- ・関係団体の協力により、啓発バグの配布を行った。(300個)
- ・がん検診受診勧奨ポスターを作成し、医療機関、各地区市民センター、企業に338枚、食品衛生協会に200枚、理美容組合に300枚の合計838枚配布

② 健康づくりについて

- ・健康づくりへの関心を高めるため、新たに健康情報冊子「ARUKU vol. 2」を作成。既存の健康情報冊子「ARUKU」とともに、地区市民センター、庁内窓口、企業、健康ボランティアなどを通じて配布を行った。(冊)

冊子名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
ARUKU	7,697	9,071	10,973
ARUKUvol.2	9,427	15,361	

- ・健康づくりの推進のため、公園にステップ運動ができる路面標示を設置：中央緑地に3か所
- ・街の中に「歩く」ことが浸透するように、「ARUKU」を基盤とした、啓発活動を実施
 - ◆近鉄四日市駅改札外階段(3カ所)への健康づくり啓発階段標示の掲出
掲示期間：令和3年9月1日～10月31日
 - ◆工事現場の仮囲等へのマグネット標示の設置(4カ所)
鵜の森公園内、ろうきん前、及び内部中学校前の工事現場仮囲い、本庁舎横ごみ倉庫外壁
 - ◆ポスター掲示による啓発
掲示場所：市関連施設、国道1号線地下歩道橋、スーパー等販売店(イオン、マックスバリュ、四季菜など)、みんなの健康☆応援事業所、マイレージ得点協力店、商店街団体、くすのきパーキング、あすなろう鉄道車内へのポスター掲示
- ・健康づくりに取り組むきっかけの促進を図るため、「健康マイレージ事業」を実施。一定のポイントをため、応募があった人に協力店で特典が受けられる「三重とこわか健康応援カード」を交付する。

対象者：四日市市在住、在勤の18歳以上

交付者数 (人)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
交付者数	759	1,006	1,072	270

- ・コロナ禍においても市民が、継続して楽しみながら運動を実施できるよう動画の配信や、運動の成果を記録で見える化することにより、運動習慣が身につくように促す「四日市をARUKUマップ」を令和2年度から引き続き実施 令和3年1月～6月

対象者：四日市市在住・在勤の18歳以上

参加者数

(人)

	令和3年度 (令和3年4月～6月)	令和2年度 (令和3年1月～3月)	合計
参加者数	663	745	1,408

- ・市民の関心を高め、健康づくりの推進につなげるため、健康情報冊子「ARUKU」の動画版を制作。市公式YouTubeチャンネルにて放映 (R3. 11. 24～)

【視聴回数 (令和4年3月31日 時点)】

- ①市街地編 : 735回
- ②南部丘陵公園編 : 648回
- ③垂坂公園・羽津山緑地編 : 727回
- ④中央緑地編 : 647回
- ⑤チェックパターンエクササイズ編 : 535回
- ⑥PR編 : 本庁舎1階電子掲示板、本庁舎及び総合会館エレベーター前電子掲示板、トナリエ前電子掲示板で放映

(6) 受動喫煙対策についての周知啓発及び相談

望まない受動喫煙が生じないように、ポスターやリーフレットの配布等による啓発や、市民・事業者からの受動喫煙に対する相談を行った。(健康増進法改正に伴い令和元年度～実施)

	受動喫煙についての相談件数
令和3年度	14
令和2年度	147
令和元年度	142

3) 介護予防事業 (おおむね65歳以上の方対象)

(1) 健康相談

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する相談を行った。

相談状況

(人)

年度	来所相談		依頼による 相談	電話相談 (ヘルシードアール等)	健康教育 と併設	合計
	あさけプラザ	健康づくり課 窓口等				
令和3年度	1,013	119	0	58	0	1,190
令和2年度	1,234	95	0	75	0	1,404
令和元年度	1,949	224	22	98	0	2,293

(2) 訪問事業

健康づくりや認知症、閉じこもり予防などの介護予防に関する訪問指導を行った。

実施状況

(人)

年度	実人員			延人員		
	閉じこもり 予防	その他	計	閉じこもり 予防	その他	計
令和3年度	18	0	18	72	0	72
令和2年度	21	0	21	89	0	89
令和元年度	15	0	15	69	0	69

4) 栄養指導・食育推進ネットワーク事業

(1) 給食施設指導

健康増進法に基づき、特定多数の人に継続的に食事を供給する施設に対して栄養管理指導や研修会を行った。

① 給食施設巡回指導

令和2年度・3年度の巡回指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により、三重県の動向等を踏まえ中止としたが、啓発資料等による情報提供を実施した。

実施状況

(件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
学校	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
病院	特定給食施設指導数	0	0	9
	一般給食施設指導数	0	0	4
老人保健施設	特定給食施設指導数	0	0	1
	一般給食施設指導数	0	0	0
児童福祉施設	特定給食施設指導数	0	0	9
	一般給食施設指導数	0	0	11
老人福祉施設	特定給食施設指導数	0	0	2
	一般給食施設指導数	0	0	9
社会福祉施設	特定給食施設指導数 (※)	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	0
事業所	特定給食施設指導数	0	0	12
	一般給食施設指導数	0	0	3
寄宿舍	特定給食施設指導数	0	0	0
	一般給食施設指導数	0	0	3

(※) 指導対象施設なし

② 給食施設研修会

実施状況

配信日時	利用者数 (人)	内 容
令和4年1月25日(火)	52	三重県健康推進課提供のWEB研修により実施 講義「日本食品標準成分表 2020年版(八訂)を活用しよう」
令和4年3月4日(金) ～15日(火)	64	YouTubeによるオンライン研修 1. 講義： 「ジャパン・ニュートリションと食環境づくり」 講師：鈴鹿医療科学大学 准教授 大槻 誠 氏 2. 情報提供：「食品衛生法の改正について」 講師：四日市市保健所衛生指導課 職員 3. 事務連絡 四日市市保健所健康づくり課 職員

(2) 栄養成分表示等に関する相談

食品表示法第4条、第5条、健康増進法第65条第1項に基づき、食品の表示等に関する相談を行った。

実施状況

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
特定保健用食品	0	0	0
特別用途食品	0	0	0
食品表示基準 (又は栄養表示基準)	18	38	84
栄養機能食品	0	1	1
誇大表示の禁止	1	3	0
計	19	42	85

(3) 食育推進事業

食に関する取組みの充実に向け、庁内及び食育推進関係団体等がともに連携し、各種事業を行った。

① 四日市市食育推進会議

実施状況

開催日	議事
第1回 中止	—
第2回 3月8日(火) (書面会議)	1. 令和3年度の食育推進活動について 2. 今後の食育推進の取り組みについて

② 啓発事業

実施状況

	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)		回数 (回)	参加者数(人)	
		延人員	実人員		延人員	実人員		延人員	実人員
食育推進のための啓発事業	0	0	0	0	0	0	2	731	731
高校生・大学生のための食育教室	8	1,383	1,383	6	737	737	16	2,827	2,827
食育推進ポスター事業	応募数 847 作品			応募数 775 作品			応募数 730 作品		

そのほか、食育推進ポスターの入賞作品を用いて、野菜の摂取量向上の推進を目指した啓発活動を行った。

2. 三重北勢健康増進センター事業

(1) 利用状況と推移(人)

区 分		令和3年度	令和2年度	令和元年度
プール	一般	8,172	11,838	16,732
	65歳以上	8,042	11,031	13,700
	中学生以下	4,776	5,123	8,642
	小計	20,990	27,992	39,074
トレーニングジム	一般	5,091	7,608	19,518
	65歳以上	6,510	8,121	19,663
	小計	11,601	15,729	39,181
軽運動室及びランニングトラック	一般	2,792	3,415	7,132
	中学生以下	434	406	1,860
	小計	3,226	3,821	8,992
グラウンドゴルフ場	一般	1,840	3,071	4,412
	中学生以下	37	28	57
	小計	1,877	3,099	4,469
計		37,694	50,641	91,716

健康づくり教室※	508	757	1,180
----------	-----	-----	-------

※ 健康教育の三重北勢健康増進センター開催健康づくり教室を再掲。

障害児等機能回復訓練	—	—	74
------------	---	---	----

※ こども未来部事業

運動施設専用使用	5,054	6,117	13,273
会議施設使用	36,184	4,307	8,773

※令和3年度会議施設使用人数のうち、新型コロナウイルスワクチン関係 34,287

利用者合計	78,932	61,065	113,836
-------	--------	--------	---------

3. 統計資料

(1) 年齢別死因と死亡割合（令和2年）

※厚生労働省 人口動態

(全体)

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	自殺 (57.1)	自殺 (33.3)	自殺 (35.3)	悪性新生物 (23.6)	悪性新生物 (37.3)	悪性新生物 (41.1)	悪性新生物 (53.3)	悪性新生物 (43.8)	悪性新生物 (42.5)	老衰 (23.8)	悪性新生物 (26.2)
2位	悪性新生物 (28.6)	心疾患 (22.2) 脳血管疾患 (22.2)	心疾患 (11.8) 脳血管疾患 (11.8)	自殺 (20.0)	心疾患 (18.6)	心疾患 (12.2)	心疾患 (7.7)	心疾患 (17.8)	心疾患 (11.2)	悪性新生物 (17.2)	老衰 (15.7)
3位	不慮の事故 (14.3)			心疾患 (14.5)	脳血管疾患 (12.7)	脳血管疾患 (7.8)	脳血管疾患 (5.9)	脳血管疾患 (7.2)	脳血管疾患 (5.6)	心疾患 (15.4)	心疾患 (14.6)

(男性)

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	自殺 (100.0)	心疾患 (28.6) 脳血管疾患 (28.6)	自殺 (35.7)	自殺 (17.9) 心疾患 (17.9)	悪性新生物 (31.6)	悪性新生物 (40.6)	悪性新生物 (48.0)	悪性新生物 (40.9)	悪性新生物 (40.8)	悪性新生物 (21.3)	悪性新生物 (29.3)
2位		不慮の事故 (14.3) 自殺 (14.3)	心疾患 (14.3) 脳血管疾患 (14.3)	脳血管疾患 (14.3)	心疾患 (19.7)	心疾患 (14.5)	心疾患 (7.2)	心疾患 (18.8)	心疾患 (11.4)	老衰 (16.2)	心疾患 (14.6)
3位					脳血管疾患 (15.8)	脳血管疾患 (5.8) 不慮の事故 (5.8)	脳血管疾患 (5.6) 肝疾患 (5.6)	脳血管疾患 (7.2)	脳血管疾患 (6.3)	心疾患 (15.2)	老衰 (9.3)

(女性)

	10~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~	総数
1位	悪性新生物 (66.7)	自殺 (100.0)	肝疾患 (33.3) 自殺 (33.3)	悪性新生物 (37.0)	悪性新生物 (47.6)	悪性新生物 (42.9)	悪性新生物 (68.2)	悪性新生物 (49.5)	悪性新生物 (46.0)	老衰 (29.8)	老衰 (22.8)
2位	不慮の事故 (33.3)			自殺 (22.2)	心疾患 (16.7)	脳血管疾患 (14.3)	心疾患 (9.1)	心疾患 (15.8)	心疾患 (10.9)	心疾患 (15.6)	悪性新生物 (22.7)
3位				心疾患 (11.1)	脳血管疾患 (7.1) 自殺 (7.1)	心疾患 (4.8) 大動脈瘤 (4.8) 喘息 (4.8)	脳血管疾患 (6.8)	脳血管疾患 (7.4)	脳血管疾患 (4.4)	悪性新生物 (14.0)	心疾患 (14.7)

(2) 主要死因別の死亡数・死亡総数に対する割合（令和2年）

	死亡数			死亡総数に対する割合	
	令和2年	令和元年	差引増減 (令2-令元)	令和2年	令和元年
全死因	3,157	3,140	△ 26	100.0	100.0
悪性新生物	827	830	1	26.2	26.4
心疾患	462	444	△ 56	14.6	14.1
脳血管疾患	221	253	△ 4	7.0	8.1
肺炎	132	197	27	4.2	6.3
不慮の事故	78	90	△ 17	2.5	2.9
慢性閉塞性肺疾患	22	33	△ 7	0.7	1.1
老衰	495	395	46	15.7	12.6
腎不全	69	63	△ 9	2.2	2.0
大動脈瘤及び解離	44	43	△ 4	1.4	1.4
肝疾患	34	32	△ 2	1.1	1.0
糖尿病	30	49	16	1.0	1.6
喘息	4	6	3	0.1	0.2
高血圧疾患	21	28	△ 7	0.7	0.9
結核	6	6	0	0.2	0.2

(3) 悪性新生物 部位別死亡割合（%）

(男性)

部位	H29年	H30年	R1年	R2年	全国
気管・気管支及び肺	27.0	26.1	28.6	25.2	24.1
胃	11.3	15.4	10.5	12.5	12.6
大腸	8.6	10.0	13.0	14.5	12.5
肝臓	7.8	8.4	7.1	5.5	7.4
その他	45.3	40.1	40.8	42.3	43.4

(女性)

部位	H29年	H30年	R1年	R2年	全国
大腸	18.1	14.6	14.2	18.9	15.3
気管・気管支及び肺	9.5	12.8	15.5	13.3	14.2
胃	11.1	12.8	6.2	10.6	9.2
肝臓	7.3	6.4	6.5	5.3	5.5
乳房	9.5	14.3	11.1	10.3	9.3
子宮	5.1	4.0	6.5	4.7	4.3
その他	39.4	35.1	39.9	36.9	42.2

(4) 年齢別 悪性新生物部位別死亡
(全体)

部位	H29 全体							H30 全体							R1 全体							R2 全体							H29~R2 全体																
	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上										
口唇・口腔及び咽頭	0	0	1	0	1	1	13	16	0	1	0	1	2	1	8	13	0	0	0	0	0	1	1	9	11	0	0	0	0	4	0	4	9	17	0	0	0	0	1	1	5	4	7	39	57
食道	0	0	0	1	0	4	16	21	0	0	0	2	1	4	18	25	0	0	0	3	1	2	19	25	0	0	0	1	1	5	16	23	0	0	0	0	7	3	15	69	94				
胃	0	0	2	5	2	5	76	90	1	0	5	9	4	11	89	119	0	0	0	4	1	5	63	73	0	0	1	4	8	16	68	97	1	0	8	22	15	37	296	379					
結腸	0	0	1	6	1	8	55	71	0	0	2	4	3	5	51	65	0	1	0	5	3	10	60	79	0	0	0	3	6	84	96	0	1	3	18	10	29	250	311						
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	0	6	1	2	19	28	0	0	1	0	3	5	24	33	0	2	5	2	7	17	33	0	0	1	3	2	6	27	39	0	0	4	14	8	20	87	133						
肝及び肝内胆管	0	0	0	4	4	6	47	61	0	0	0	6	2	3	52	63	0	1	1	2	7	46	57	0	0	0	4	1	3	37	45	0	0	1	15	9	19	182	226						
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	0	1	3	35	39	0	0	0	1	0	3	30	34	0	0	0	1	3	28	32	0	0	1	3	1	2	29	36	0	0	1	4	3	11	122	141						
膵	0	0	1	5	6	11	53	76	1	1	1	4	1	6	49	63	0	2	3	4	11	69	89	0	0	0	4	3	10	52	69	1	1	4	16	14	38	223	297						
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	1	4	5	6					
気管・気管支及び肺	0	0	1	5	13	22	120	161	0	1	2	7	3	18	142	173	0	1	6	4	23	161	195	0	0	3	4	9	13	139	168	0	1	7	22	29	76	562	697						
皮膚	0	0	0	0	0	3	3	6	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0	0	1	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0	0	0	1	3	17	21					
乳房	0	0	4	7	3	2	14	30	0	1	2	11	3	4	26	47	0	4	6	2	5	19	36	0	0	1	8	1	4	21	35	0	1	11	32	9	15	80	148						
子宮	0	0	1	2	3	3	7	16	0	0	0	0	3	0	7	13	0	4	4	2	11	21	0	0	0	3	2	1	1	9	16	0	0	8	11	4	9	34	66						
卵巣	0	1	0	3	0	2	4	10	0	0	1	0	1	1	4	7	0	1	1	3	2	7	0	0	0	0	2	2	3	7	0	1	2	4	3	8	13	31							
前立腺	0	0	0	0	0	5	27	32	0	0	0	0	0	1	26	27	0	0	0	1	3	28	32	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	1	0	2	10	109	122						
膀胱	0	0	0	2	0	0	14	16	0	1	0	0	0	3	14	18	0	1	1	2	20	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	67	78					
中枢神経系	3	0	4	0	0	0	2	9	0	0	1	1	0	2	1	5	0	1	1	1	1	3	2	0	0	0	0	3	1	6	5	0	6	2	0	5	5	23	23						
悪性リンパ腫	0	1	1	2	1	1	20	26	0	0	1	1	0	4	31	37	0	2	2	20	22	0	0	0	0	1	0	3	26	30	0	1	2	3	8	9	15	115							
白血病	0	0	3	0	0	1	17	21	0	0	1	0	2	2	8	13	0	1	1	14	17	1	0	1	0	0	3	10	15	1	0	6	0	3	7	4	9	66							
その他のリンパ組織・造血組織及び関連組織	0	0	0	0	1	4	5	10	0	0	0	0	0	2	12	14	0	1	1	3	7	11	0	0	0	1	1	1	8	11	0	0	2	2	10	32	46								
その他	1	0	0	3	3	4	51	62	0	2	1	1	6	8	36	54	0	2	1	3	3	46	58	1	0	1	2	3	5	45	57	2	4	3	9	15	20	178	231						
総計	4	2	19	51	40	87	598	801	2	7	18	51	31	87	633	829	0	3	18	44	29	91	645	830	4	0	13	44	37	60	939	827	10	12	68	190	137	355	2,515	3,287					

(男性)

部位	H29 男性							H30 男性							R1 男性							R2 男性							H29~R2 男性												
	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上	29歳以下	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70歳以上						
口唇・口腔及び咽頭	0	0	0	0	1	1	7	9	0	0	0	0	2	1	6	9	0	0	0	0	0	1	1	6	8	0	0	0	2	0	2	5	9	0	0	0	2	4	5	24	35
食道	0	0	0	0	0	4	15	19	0	0	0	2	1	4	16	23	0	0	0	3	1	2	16	22	0	0	1	1	5	15	22	0	0	0	6	3	15	62	86		
胃	0	0	1	2	2	3	47	55	0	0	4	6	2	7	58	77	0	0	0	4	1	4	44	53	0	0	1	3	6	10	41	61	0	0	6	15	11	24	190	246	
結腸	0	0	1	0	0	5	23	29	0	0	0	3	2	24	31	0	0	2	2	7	29	40	0	0	0	2	2	4	42	50	0	0	1	7	6	18	118	150			
直腸S状結腸移行部及び直腸	0	0	0	5	0	2	6	13	0	0	1	0	3	3	12	19	0	2	4	1	6	13	26	0	0	0	2	2	3	14	21	0	0	3	11	6	14	45	79		
肝及び肝内胆管	0	0	0	4	2	5	27	38	0	0	0	4	2	2	34	42	0	0	0	1	1	5	29	36	0	0	0	3	1	3	20	27	0	0	0	12	6	15	110	143	
胆嚢及びその他の胆道	0	0	0	0	0	2	27	29	0	0	0	0	0	2	15	17	0	0	0	0	2	11	13	0	0	0	2	1	1	10	14	0	0	0	2	1	7	6	73		
膵	0	0	1	3	6	10	28	48	1	0	0	3	1	5	25	35	0	1	2	3	7	33	46	0	0	0	2	1	5	22	30	1	0	2	10	11	27	108	159		
喉頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	6	
気管・気管支及び肺	0	0	0	5	9	15	102	131	0	1	1	3	2	14	110	131	0	0	0	6	3	18	118	145	0	0	1	3	9	12	98	123	0	1	2	17	23	59	428	530	
皮膚	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	11	12
乳房	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
子宮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
卵巣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
前立腺	0	0	0	0	0	5	27	32	0	0	0	0	0	1	26	27	0	0	0	1	3	28	32	0	0	1	0	1	1	28	31	0	0	1	0	2	10	109	122		
膀胱	0	0	0	1	0	0	10	11	0	0	0	0	0	3	6	9	0	0	0	0	1	0	1	15	17	0	0	0	0	2	16	18	0	0	0	2	0	6	47	55	
中枢神経系	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	4	2	0	4	1	12		
悪性リンパ腫	0	1	1	2	1	0	9	14	0	0	1	0	0	4	14	19	0	0	0	1	0	14	15	0	0	0	1	0	3	17	21	0	1	2	3	2	7	54	69		
白血病	0	0	2	0	0	1	12	15	0	0	1	0	2	6	9	0	0	0	0	0	0	1	6	7	0	0	0	0	3	7	10	0	0	3	0	3	2	5	31	41	
その他のリンパ組織・造血組織及び関連組織	0	0	0	0	1	3	3	7	0	0	0	0	0	1	7	8	0	0	0	1	0	3	3	7	0	0	0	1	1	1	5	8	0	0	2	2	8	18	30		
その他	1	0	0	1	0	1	27	30	0	2	1	1	3	7	23	37	0	2	1	1	3	2	24	3																	

(5) 悪性新生物 部位別死亡 (平成 29 年～令和 2 年累計)

		29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計	70歳未満 の死亡数	70歳未満死亡の 割合
									再計	
胃	男	0	0	6	15	24	190	235	45	19.1%
	女	1	0	2	7	17	106	133	27	20.3%
大腸	男	0	0	4	18	44	163	229	66	28.8%
	女	0	1	3	14	23	174	215	41	19.1%
肺	男	0	1	2	17	82	428	530	102	19.2%
	女	0	0	5	5	23	134	167	33	19.8%
子宮	女	0	0	8	11	13	34	66	32	48.5%
乳	女	1	1	11	32	24	80	149	69	46.3%

(6) 75歳未満年齢調整死亡率

悪性新生物

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	82.7	83.4	70.4	70.8	69.1	65.7	66.3
男	107.7	105	92.5	93	84.1	82.6	80.8
女	60.7	64	49.5	50.4	55.8	50.3	53.5

胃がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	9.9	9.3	8.5	6.2	10.4	5.3	9.2
男	14.8	11.4	12	8	13.1	9	13.8
女	5.4	7.6	5.1	4.6	7.8	1.8	4.8

大腸がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	17.1	15.6	13.3	11.2	13.3	15.9	11.3
男	20.5	20.3	16.7	10.6	16.3	22.2	13.9
女	14.2	11.3	9.9	11.8	10.3	9.8	8.8

肝がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	4.4	6.8	5.8	3.2	4.4	3.6	3.1
男	7.2	11	10.7	6.6	6.3	4.9	4.8
女	1.9	2.6	1.3	0	2.5	2.4	1.4

肺がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	17.2	19.2	16.7	11.7	11.3	13	12.2
男	26.2	30	29.8	21.9	17.4	20.6	19.8
女	9	9.4	4.1	2.1	5.7	6	5.2

乳がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	9.1	10	8.1	10.3	14.5	10.3	10
女	9.1	10	7.6	10.3	14.5	10.3	10

子宮がん

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年
総数	3.7	6	7.6	4.9	3.8	7.1	5.5
女	3.7	6	7.6	4.9	3.8	7.1	5.5

Ⅲ. 保健予防課

1. 四日市市地域保健運営協議会

地域保健及び保健所の運営に関する事項について検討を行い、今後に反映していく目的の協議会。令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため文書開催とした。

回数	開催日	議 事
第1回	令和4年3月18日(金)	「第2次四日市市保健医療推進プラン」について ほか

2. 四日市地域救急医療対策協議会

1) 四日市地域救急医療対策協議会

四日市地域内の救急搬送及び救急医療体制の充実強化を図るため、関係機関等が協議し、地域の実情に即した体制の整備の推進を図るとともに、感染症などの健康危機事例発生時に迅速かつ的確に対処できるよう、平常時からの連携体制を確保することを目的として協議会を設けている。令和3年度は開催せず。

2) 四日市地域救急医療対策協議会新型インフルエンザ等対策部会

新型インフルエンザ等感染症の感染拡大防止のため、四日市地域救急医療対策協議会の下部組織として対策部会を設けている。令和3年度は開催せず。

3. 各種統計・報告

1) 衛生行政報告例

国及び地方公共団体の衛生行政運営のための基礎資料を得ることを目的に、衛生行政の実態を把握した。

2) 地域保健・健康増進事業報告

地域住民の健康の保持及び増進をめざし、地域の特性に応じた保健施策の効率的、効果的な推進を行っていくための基礎資料を得ることを目的として実態を把握した。

3) 病院報告

医療法に基づいて病院（療養型病床群を有する診療所を含む）における患者の利用状況と病院の従事者の状況を把握した。

4) 医療施設調査

医療施設の分布及びその機能の実態を明らかにするために、3年毎に静態調査、月毎に動態調査を実施することとしている。

5) 国民生活基礎調査

国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び立案に必要な基礎資料を得ることを目的として毎年度実施。

6) 患者調査

病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施。(令和3年度は非該当)

7) 受療行動調査

全国の医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査することにより、患者の医療に対する認識や行動を明らかにし、今後の医療行政の基礎資料を得ることを目的として3年毎に実施。(令和3年度は非該当)

4. 免許の申請、書き換え交付状況

医師、歯科医師その他の保健医療従事者の免許申請等の受理、免許証の交付を行った。

令和3年度

	新規申請 (件)	書き換え (件)	再交付 (件)	抹消 (件)	計 (件)
医 師	24	8	1	0	33
歯 科 医 師	3	1	0	1	5
保 健 師	34	24	0	0	58
助 産 師	11	5	0	0	16
看 護 師	160	125	7	0	292
准 看 護 師	14	3(2)	4(2)	0	21(4)
栄 養 士	18	14	1	0	33
臨 床 検 査 技 師	10	2	0	0	12
衛 生 検 査 技 師	0	0	0	0	0
診 療 放 射 線 技 師	5	2	1	0	8
理 学 療 法 士	20	8	0	0	28
作 業 療 法 士	12	7	1	0	20
薬 剤 師	15	8	2	1	26
管 理 栄 養 士	38	13	2	0	53
視 能 訓 練 士	2	0	2	0	2
合 計	366	222(2)	21(2)	2	611(4)

() 内の数字は県外免許の数 (内数)

5. 病院・診療所立入検査

医療法等関係法令に基づき、医療の安全の確保のために、市内の全病院及び診療所に対して、立入検査を行い、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査、医療従事者向け各種マニュアル整備等の確認をし、指導助言を行った。

1) 病院・診療所立入検査の状況

(1) 立入実施施設数

年度	病院（毎年実施）			診療所（概ね5年に1度実施）		
	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （%）	対象数 （件）	実施数 （件）	実施率 （%）
令和3年度	13	13	100.0	※415	0	0.0
令和2年度	13	0	0.0	※419	0	0.0
令和元年度	13	13	100.0	※415	81	19.5

（※開設施設中、休止施設のぞく。助産所を含む。）

令和3年度は新型コロナウイルス感染リスク低減の観点から県内すべての病院は書面検査を行い、診療所は立入検査が中止となった。

(2) 病院立入実施結果

年 度	令和3年度	
指 摘 内 容	病院数（件）	不備率（%）
医療安全管理体制の整備	13	0
医療従事者に対する健康診断の実施	13	0
医療従事者の不足	13	0
その他	13	0

(3) 診療所立入実施結果

年 度	令和3年度	
指 摘 内 容	診療所数（件）	不備率（%）
医療安全管理体制の整備	—	—
医療従事者に対する健康診断の実施	—	—
その他	—	—

6. 衛生検査所立入検査

臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所に立ち入り、法令等に規定された人員の配置や構造設備に関する検査（書類審査）を行った。

7. 医務

医療法等関係法令に基づき、医療施設の開設・内容変更・廃止等の事務及び構造設備の適正管理等について確認検査を行った。

1) 市内医務施設数

	病院	医科診療所	歯科診療所	歯科技工所	助産所	施術所	合計
令和3年度	13	268	148	37	6	309	781
令和2年度	13	272	147	37	5	298	772
令和元年度	13	272	148	42	4	291	770

各年度末の施設数

2) 確認検査と開設・廃止状況

(件)

年 度	確 認 検 査		開 設 許 可		開 設 届		廃 止		使 用 許 可	
	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2	R3	R2
病院	0	3	0	0	0	0	0	0	15	28
医科診療所	7	9	14	15	16	19	20	18	0	1
歯科診療所	6	8	4	2	6	6	5	7	0	0
歯科技工所	0	0	-	-	0	0	0	5	-	-
助産所	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
施術所	13	12	-	-	12	12	6	4	-	-
衛生検査所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総数	27	33	18	17	35	38	31	34	15	29

3) 市内病院及び許可病床数

令和4年3月末現在

	許可病床数					
	一般	療養	精神	結核	感染	総数
三重県立総合医療センター	419				4	423
市立四日市病院	566				2	568
四日市羽津医療センター	226					226
みたき総合病院	111	88				199
主体会病院	105	123				228
小山田記念温泉病院	222	155				377
医療法人社団プログレス 四日市消化器病センター	20	20				40
富田浜病院	47	98				145
総合心療センターひなが			480			480
山中胃腸科病院	48	45				93
石田胃腸科病院	38					38
水沢病院		38	174			212
四日市徳洲会病院		30				30
計	1,802	597	654		6	3,059

8. 献血事業

市内の各種団体、献血会、事業所、学校等の協力を得て、献血意識の普及、啓発に努めるとともに、多くの市民に献血にご協力いただいた。

1) 四日市市献血推進の日（夏、冬）

実施月日：令和3年7月30日（金）、令和4年1月28日（金）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため冬期の街頭啓発は中止

2) 四日市献血ルーム「サンセリテ」

三重県赤十字血液センターが近鉄四日市駅前「トナリエ四日市」5階にて常設の献血ルームを開設している。

3) 献血状況

(1) 献血イベントの状況

	推進の日（夏）	推進の日（冬）
献血者数(人)	56	57
啓発参加者数（人）	6	-

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため冬の街頭啓発は中止

(2) 市内献血バス及び献血ルーム「サンセリテ」の状況

	令和3年度			令和2年度		
	献血協力者実績(人)			献血協力者実績(人)		
	成分献血	200ml 献血	400ml 献血	成分献血	200ml 献血	400ml 献血
献血バス	-	-	3,273	-	-	3,265
サンセリテ	11,048	396	5,562	10,912	397	5,032
合計	11,048	396	8,835	10,912	397	8,297

9. 骨髄バンク事業推進

献血イベントに併せ、意識の普及啓発に努めるとともに、平成26年度より骨髄提供を行った市民及び事業所に対し、奨励金を交付する骨髄等提供支援事業を実施している。

1) 骨髄バンクの普及啓発

・令和3年7月30日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため職員による街頭啓発

2) 骨髄等提供支援事業実績

・令和3年度奨励金の交付実績 2件

10. 結核対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者に対する適正医療の提供、療養支援及び接触者に対する健康診断を実施し、早期発見・早期治療につなげることで、結核のまん延防止に努めた。

また、結核定期健康診断の受診勧奨と正しい知識の普及啓発を行い、結核の予防を図った。

1) 結核登録患者の状況

(1) 新登録患者数 (人) (活動性分類・年齢階級別)

令和3年1月1日～令和3年12月31日

分類別 年齢	活 動 性 結 核								(別掲) 潜在性 結核 感染症
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺外 結核 活動性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の 結核 菌陽性		菌陰性 その他	
総 数	総 数		初回治療	再治療					
総 数	26	22	8	8	0	10	4	4	12
0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20～29	4	4	0	0	0	3	1	0	0
30～39	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40～49	2	2	1	1	0	0	1	0	2
50～59	1	1	0	0	0	0	1	0	2
60～69	4	2	2	2	0	0	0	2	2
70～	15	13	5	5	0	7	1	2	4

(2) 新登録患者数・罹患率の推移

() は、喀痰塗抹陽性患者数の再掲

	令和3年	令和2年	令和元年
新登録患者数 (人)	26 (8)	18 (8)	29 (10)
罹患率 (人口10万対)	8.4	5.8	9.3

※新登録患者のうち、潜在性結核感染症除く

(3) 年末現在登録者数(人)(活動性分類・受療状況別)

令和3年12月31日現在

分類別 区分	総数	肺結核活動性				肺外 結核 活動性	不活動性 結核	活動性 不明	(別掲) 潜在性 結核 感染症
		登録時喀痰塗抹陽性		その他の 結核 菌陽性	菌陰性 その他				
		初回治療	再治療						
総数	60	6	0	7	2	4	34	7	14
入院	8	6	0	0	0	2	0	0	1
外来医療	11	0	0	7	2	2	0	0	9
医療なし	41	0	0	0	0	0	34	7	4
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2) 感染症診査協議会における結核医療診査状況

(1) 感染症法第37条の2申請状況(一般患者に対する医療)

令和3年1月1日～令和3年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護	その他	(別掲) 変更 申請
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族				
申請件数	37	8	2	8	1	0	17	1	0	4
承認件数	36	7	2	8	1	0	17	1	0	4

(2) 感染症法第37条申請状況(入院患者の医療)

令和3年1月1日～令和3年12月31日

	総数	新規申請	継続申請	再申請	解除報告(別掲)	
					入院	就業制限
申請件数	29	11	18	0	9	8
承認件数	29	11	18	0		

(3) 感染症法第37条による結核医療費の被保険者別状況

令和3年1月1日～令和3年12月31日

	総数	被用者保険		国民健康保険			後期 高齢者	生活 保護	その他
		本人	家族	一般	退職本人	退職家族			
令和2年末現在	2	0	0	0	0	0	1	1	0
令和3年承認件数	11	2	0	3	0	0	6	0	0
令和3年解除件数	9	1	0	2	0	0	5	1	0
令和3年末現在	7	3	0	1	0	0	3	0	0

3) 結核検診

(1) 定期診断及び定期外診断実施状況 (人)

令和3年度

区分 対象別		実施者数 [延人数]	ツベルクリン 反応検査		※1 血液検査 (QFT検査・T-SPOT検査)		間接撮影 (直接撮影)		
			受診者数	感染者数	受診者数	感染者数	受診者数	患者発見数	
定期	総数	31,295	/	/	/	/	2,598 (28,697)	0	
	事業所	14,341	/	/	/	/	1,114 (13,227)	0	
	学校	4,786	/	/	/	/	1,239 (3,547)	0	
	施設	1,783	/	/	/	/	245 (1,538)	0	
	一般住民	10,385	/	/	/	/	0 (10,385)	0	
定期外	接触者	総数	46[62]	0[0]	0	46[62]	5	0	0
		患者家族	21[33]	0[0]	0	21[33]	4	0	0
		その他	25[29]	0[0]	0	25[29]	1	0	0
	管理検診	5[7]	/	/	/	/	0 (5[7])	0	

※1 結核菌に感染しているかどうかを調べる検査。

4) 結核健康相談開催

保健指導

随時実施 (DOTS 実施件数含)

訪問指導件数	19 件
所内面接件数	11 件
電話相談件数	212 件

5) 直接服薬確認 (DOTS) 事業

(1) DOTS支援状況

(人)

	対象者数	支援方法		
		面接・訪問	郵送	電話連絡
令和3年度	31	3 (6)	3 (21)	25 (83)
令和2年度	28	3 (8)	2 (10)	23 (79)
令和元年度	52	20 (100)	5 (13)	27 (103)

() 内は、延人数

(2) DOTSカンファレンス実施状況

令和3年度

実施場所	実施日	参加者	検討数
三重中央医療センター	令和3年5月20日 令和3年7月15日 令和3年9月16日 令和3年11月18日 令和3年12月16日 参加	担当医、病棟看護師、病棟薬剤師、医療社会専門員、保健所保健師	入院：6件

1 1. 地域精神保健福祉対策

1) 措置・移送業務

「精神保健福祉法」に基づき、精神障害者の医療及び保護を行い、社会復帰の促進及びその自立と社会経済活動への参加の促進のために必要な援助を行い、その発生の予防その他精神的健康の保持増進に努めた。

(1) 精神障害者保護取扱状況

(件)

	申 請 ・ 通報件数						通報等による 調査結果の 処 理		指 定 医 診 察 結 果		措置非該当の 場合の結果	
	計	法22条	法23条	法26条 の2	法26条 の3	法27条 第2項	診察 必要	診察 不要	措置 該当	措置 非該当	医療保 護入院	その他
令和3年度	40	0	40	0	0	0	39	1	23	16	8	8
令和2年度	49	1	48	0	0	0	49	0	20	29	13	16
令和元年度	54	0	53	0	0	1	53	1	23	30	11	19

※精神保健福祉法

第22条：親族又は一般人からの申請 第23条：警察官の通報

第26条の2：精神科病院の管理者の届出

第26条の3：心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者に係る通報

第27条第2項：市長職務診察

(2) 病名別・措置入院者数

(件)

	総 数	認 知 症	ア ル コ ー ル	依 存 症	薬 物 依 存 症	統 合 失 調 症	双 極 性	感 情 障 害	そ う 病	う つ 病	人 格 障 害	そ の 他
男 性	13	0	2	0	0	6	2	0	0	0	0	3
女 性	10	0	1	0	0	4	1	0	0	0	0	4
令和3年度 措置患者総数	23	0	3	0	0	10	3	0	0	0	0	7
令和2年度 措置患者総数	20	2	0	0	1	12	0	1	1	1	1	2
令和元年度 措置患者総数	23	2	2	2	1	9	2	2	2	2		3

(3) 四日市市保健所精神措置等連携会議

関係機関：医療機関、警察署

内 容：精神措置業務や精神保健相談に係る情報共有及び連携について

※新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止。

2) 手帳・医療の助成業務**(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況**

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1 級	217	221	232
2 級	1,993	1,828	1,725
3 級	866	735	712
合 計	3,076	2,784	2,669

(2) 自立支援医療費(精神通院)受給者証交付状況

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
交付数	6,633	6,826	6,296

3) 地域精神保健福祉対策業務**(1) 精神保健福祉相談**

精神疾患の治療やその対応等について、相談指導に医師、精神保健福祉士、保健師等が応じ、社会復帰の促進及び自立と社会参加の促進を図った。また、医療や福祉を必要とする精神障害者に適切な関係機関を紹介した。

対 象 本人、家族、その他

周知方法 広報よっかいち掲載、チラシ配布など

場 所 四日市市総合会館

① 医師による精神保健福祉相談

日 時 原則 毎月第2木曜日及び第4金曜日 年24回(うち実施21回)
 思春期相談 年3回(うち実施3回)
 アルコール関連問題相談 年1回(うち実施1回)
 スタッフ 精神科医師・保健師等 (件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
来所相談の総件数		52	65	63
相談者内訳	本人	14	11	19
	本人と家族	18	7	14
	家族のみ	11	14	7
	その他(関係者など)	9	33	23
治療状況	治療中	7	22	13
	未治療・治療中断	45	41	34
	その他	0	2	16

家庭訪問 (件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
医師の家庭訪問件数	1	2	4

※ 保健師との同行訪問

② 精神保健福祉士による精神保健福祉相談

日 時 原則 月～木曜日 9:00～16:00
 スタッフ 精神保健福祉士 (件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談の総件数		16	36	267
内訳	面接	1	13	49
	電話	15	23	114
	訪問	0	0	104

③ 保健師等による精神保健福祉相談

スタッフ 保健師等 (件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
相談の総件数		3,866	3,608	2,671
内訳	面接	475	386	359
	電話(メール含む)	3,039	2,773	2,093
	訪問	352	449	219

(2) 普及啓発

① こころの健康講座

広く市民がこころの健康や病気について正しく理解することにより、こころの健康の保持増進を図るとともに、本人または家族、知人にこころの病気が疑われる時に適切に対応し、必要な相談や受診につながることを目的として実施する。

対 象 市民、市内通学・通勤者
場 所 四日市市勤労者・市民交流センター

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防ため開催中止。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
参加者人数	—	—	110

② こころの健康づくり講演会

地域住民がこころの健康の保持、増進を図り、こころの健康や病気について正しい知識を得ることで、適切に相談や受診につながるよう実施する。

対 象 市民、市内通学・通勤者

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防ため開催中止。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
参加者人数	—	—	89

③ 地区出前講座・地区依頼健康教育

回 数 4回
参 加 者 97人
内 容 精神疾患の正しい理解、自殺予防、ストレスケア 等

(3) 自殺予防対策

① 自殺対策連絡会議

本市の現状を把握し、各関係機関が課題等の実態を共有し、関係機関に訪れた人の日常の中に隠れている自殺の兆候に気づき、支援体制を整えるなど市内の総合的な取り組みを行っていくための情報共有、研修、情報交換等を実施し、相談に対する職員の意識の向上を図った。

対 象 人権施策推進委員会相談体制部会員
四日市市人権にかかる相談ネットワーク連絡会会員
各地区市民センター職員、
自殺予防対策に係る関係職員 等

【第1回】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

【第2回】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

② 自殺予防週間（9月10日～9月16日）広報啓発、庁内関係部署へのポスター配布等

庁内関係部署に啓発用ポスター、パンフレット、ティッシュ配布
広報掲載、市ホームページ掲載、庁内モニターの放映

③ 自殺対策強化月間（3月） 広報・健康だより・路線バス・公用車による啓発等

庁内関係部署に啓発用ティッシュ等配布
市内の路線バス（三重交通）のバスマスク掲示
健康だより掲載
働く世代の健康情報掲載
近鉄四日市駅、近鉄富田駅、塩浜駅、あすなろう鉄道構内ポスター掲示
市立図書館2階にパネル、関係書籍、パンフレット等の展示
総合会館1階人権ひろばにてパネル、パンフレット等展示

④ メンタルパートナー養成研修

自殺予防について正しい知識を持ち、身近な人の変化に気づき、自殺を考えている人や悩んでいる人を相談窓口等へつなぐ役割が期待される人の養成を実施し、支援のネットワークづくりに努めた。

内 容 自殺の現状とその背景にある問題、自殺のサイン、声のかけ方
メンタルパートナーとしての役割等（DVD視聴含）

回 数 5回

参加者 156人（研修・講座・講演会等重複）

⑤ 自殺未遂者支援

自殺未遂者の再企図防止のため、救命救急センターと連携し、支援の在り方を検討するための検討会を実施した。市内精神科病院および四日市市教育委員会（指導課）が参加し、より連携を深めることができた。

- ・自殺未遂者支援検討会

場 所 三重県立総合医療センター 会議室

回 数 4回

- ・臨床心理士との自殺未遂者事例検討会

場 所 四日市市総合会館

回 数 2回

⑥ 四日市市人権研修リーダー養成講座

働く世代の自殺率を減少させるため、事業所に対し効果的にメンタルヘルスについての正しい知識の普及、適切な支援につなげるため、四日市市人権啓発企業連絡会の協力を得て、研修会を開催した。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

(4) 組織の育成・支援

① 地域家族会支援

地域で精神障害者の家族が共に助け合い生活していくため家族会に対して支援を行う。

対 象 地域家族会「ほうれん草の会」

内 容 定例会の出席

※令和3年度は土曜日開催や新型コロナウイルス感染症拡大予防のため参加なし。

② 若年者早期支援事業

若年者の統合失調症を中心とした精神疾患の早期発見、早期治療につなげるため、また思春期の自殺対策について、多機関で包括的に取り組むため、医療機関、教育委員会、保健所が連携を強化し、事業を実施した。

内 容 ・四日市早期支援ネットワーク本会議参加 0回

・連絡会議参加 9回

・児童生徒への出前授業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

・教職員等事例検討会 1回、ケース会議 1回

・教職員対象出前研修 なし

・思春期精神科医師相談 実施回数 3回

来所者 6人

・個別相談 延べ53件

・YESnet 夏季研修会（教職員対象）

内容：「子どもの心の傷つきを考える～被虐・ヤングケアラーなどの体験を持つ子どもへの支援」

講師：鈴鹿医療科学大学 土田 幸子 准教授

③ 四日市アルコールと健康を考えるネットワーク

四日市地域の医療機関や職域及び地域の関係機関の関係者が連携を図り、アルコール依存症等の研究、啓発、情報交換を行っているネットワークの事務局として企画、調整を行った。

内 容 ・広報10月下旬号アルコール問題に関する記事掲載

・従事者向け研修会の企画、出席 1回

・多機関連携事例検討会 1回

・ネットワーク運営委員会の開催 2回（2回ともZOOMによる）

・各種チラシ等の作成

・イオン尾平店にて普及啓発イベントの実施

(5) 地域等における連携会議

こころの病などで悩む人への支援を実施するため、地域及び関係機関等において情報の共有、検討を図るため会議に出席した。

連携会議出席回数 22回（実人数 15人）

(6) 医療観察法に基づいたケア会議

心神喪失又は心神耗弱の状態、重大な他害行為を行った精神障害者に対して、医療の保護と社会復帰の促進のため、保護観察所が主催するケア会議に出席し、地域支援を行った。

対象件数 3件 家庭訪問 19回 ケア会議出席回数 8回

12. 難病対策

1) 特定医療費（指定難病）受給者証認定状況

国が指定する338の指定難病を対象とした特定医療費の助成制度により、医療費の自己負担の軽減が図られている。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和3年度末現在認定者数（人）

疾病番号	病名	認定者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2
2	筋萎縮性側索硬化症	21
3	脊髄性筋萎縮症	0
4	原発性側索硬化症	1
5	進行性核上性麻痺	20
6	パーキンソン病	272
7	大脳皮質基底核変性症	9
8	ハンチントン病	1
9	神経有棘赤血球症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3
11	重症筋無力症	68
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	41
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	8
15	封入体筋炎	8
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	23
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	70
19	ライソゾーム病	13
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	4
22	もやもや病	34
23	プリオン病	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0

25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	0
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	7
29	ウルリッヒ病	0
30	遠位型ミオパチー	0
31	ベスレムミオパチー	0
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0
34	神経線維腫症	12
35	天疱瘡	8
36	表皮水疱症	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0
40	高安動脈炎	7
41	巨細胞性動脈炎	6
42	結節性多発動脈炎	3
43	顕微鏡的多発血管炎	26
44	多発血管炎性肉芽腫症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	13
46	悪性関節リウマチ	12
47	バージャー病	2
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2
49	全身性エリテマトーデス	138
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	47
51	全身性強皮症	119
52	混合性結合組織病	25
53	シェーグレン症候群	21
54	成人スチル病	6
55	再発性多発軟骨炎	2
56	ベーチェット病	32
57	特発性拡張型心筋症	47
58	肥大型心筋症	7
59	拘束型心筋症	0
60	再生不良性貧血	15
61	自己免疫性溶血性貧血	3
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	50

64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
65	原発性免疫不全症候群	3
66	IgA 腎症	53
67	多発性嚢胞腎	32
68	黄色靱帯骨化症	12
69	後縦靱帯骨化症	77
70	広範脊柱管狭窄症	5
71	特発性大腿骨頭壊死症	49
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	20
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	7
75	クッシング病	1
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7
78	下垂体前葉機能低下症	50
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	35
85	特発性間質性肺炎	47
86	肺動脈性肺高血圧症	8
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	28
91	バッド・キアリ症候群	1
92	特発性門脈圧亢進症	1
93	原発性胆汁性胆管炎	38
94	原発性硬化性胆管炎	4
95	自己免疫性肝炎	5
96	クローン病	117
97	潰瘍性大腸炎	343
98	好酸球性消化管疾患	3
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0

103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	若年性特発性関節炎	5
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	2
110	ブラウ症候群	1
111	先天性ミオパチー	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0
113	筋ジストロフィー	11
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0
116	アトピー性脊髄炎	0
117	脊髄空洞症	0
118	脊髄髄膜瘤	0
119	アイザックス症候群	0
120	遺伝性ジストニア	0
121	神経フェリチン症	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0
126	ペリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	3
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	1
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0
130	先天性無痛無汗症	0
131	アレキサンダー病	0
132	先天性核上性球麻痺	0
133	メビウス症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0
135	アイカルディ症候群	0
136	片側巨脳症	0
137	限局性皮質異形成	0
138	神経細胞移動異常症	1
139	先天性大脳白質形成不全症	0
140	ドラベ症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0

142	ミオクロニー欠神てんかん	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0
144	レノックス・ガストー症候群	0
145	ウエスト症候群	2
146	大田原症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0
150	環状 20 番染色体症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0
152	P C D H 19 関連症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群	0
156	レット症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0
158	結節性硬化症	3
159	色素性乾皮症	0
160	先天性魚鱗癬	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	10
163	特発性後天性全身性無汗症	1
164	眼皮膚白皮症	0
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	0
167	マルファン症候群	4
168	エーラス・ダンロス症候群	0
169	メンケス病	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	0
173	VATER 症候群	0
174	那須・ハコラ病	0
175	ウィーバー症候群	0
176	コフィン・ローリー症候群	0
177	ジュベール症候群関連疾患	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0
179	ウィリアムズ症候群	0
180	A T R - X 症候群	0

181	クルーズン症候群	0
182	アペール症候群	0
183	ファイファー症候群	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0
185	コフィン・シリス症候群	0
186	ロスマンド・トムソン症候群	0
187	歌舞伎症候群	0
188	多脾症候群	0
189	無脾症候群	0
190	鰓耳腎症候群	0
191	ウェルナー症候群	1
192	コケイン症候群	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0
194	ソトス症候群	0
195	ヌーナン症候群	1
196	ヤング・シンプソン症候群	0
197	1 p36 欠失症候群	0
198	4 p 欠失症候群	0
199	5 p 欠失症候群	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0
201	アンジェルマン症候群	0
202	スミス・マギニス症候群	0
203	22q11.2 欠失症候群	0
204	エマヌエル症候群	0
205	脆弱 X 症候群関連疾患	0
206	脆弱 X 症候群	0
207	総動脈幹遺残症	0
208	修正大血管転位症	1
209	完全大血管転位症	0
210	単心室症	1
211	左心低形成症候群	0
212	三尖弁閉鎖症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0
215	ファロー四徴症	0
216	両大血管右室起始症	0
217	エプスタイン病	0
218	アルポート症候群	2
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0

220	急速進行性糸球体腎炎	4
221	抗糸球体基底膜腎炎	0
222	一次性ネフローゼ症候群	33
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1
224	紫斑病性腎炎	0
225	先天性腎性尿崩症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0
227	オスラー病	0
228	閉塞性細気管支炎	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0
230	肺胞低換気症候群	0
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	0
232	カーニー複合	0
233	ウォルフラム症候群	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0
235	副甲状腺機能低下症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0
240	フェニルケトン尿症	1
241	高チロシン血症1型	0
242	高チロシン血症2型	0
243	高チロシン血症3型	0
244	メープルシロップ尿症	0
245	プロピオン酸血症	0
246	メチルマロン酸血症	0
247	イソ吉草酸血症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0
249	グルタル酸血症1型	0
250	グルタル酸血症2型	0
251	尿素サイクル異常症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0
254	ポルフィリン症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0
256	筋型糖原病	0
257	肝型糖原病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0

259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
260	シトステロール血症	0
261	タンジール病	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0
263	脳腱黄色腫症	0
264	無 β リポタンパク血症	0
265	脂肪萎縮症	0
266	家族性地中海熱	0
267	高IgD症候群	0
268	中條・西村症候群	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	8
272	進行性骨化性線維異形成症	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
274	骨形成不全症	1
275	タナトフォリック骨異形成症	0
276	軟骨無形成症	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	0
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	0
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
283	後天性赤芽球癆	2
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
285	ファンコニ貧血	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
287	エプスタイン症候群	0
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
289	クロンカイト・カナダ症候群	1
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
292	総排泄腔外反症	0
293	総排泄腔遺残	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	1

298	遺伝性膀胱炎	0
299	嚢胞性線維症	0
300	I g G 4 関連疾患	9
301	黄斑ジストロフィー	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0
303	アッシュャー症候群	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0
305	遅発性内リンパ水腫	0
306	好酸球性副鼻腔炎	27
307	カナバン病	0
308	進行性白質脳症	0
309	進行性ミオクローヌステんかん	0
310	先天異常症候群	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX 1 B 関連腎症	0
316	カルニチン回路異常症	0
317	三頭酵素欠損症	0
318	シトリン欠損症	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0
326	大理石骨病	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
328	前眼部形成異常	0
329	無虹彩症	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	1
331	特発性多中心性キャスルマン病	2
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
334	脳クレアチン欠乏症候群	0
335	ネフロン癆	0
336	家族性低 β リポタンパク血症 1（ホモ結合体）	0

337	ホモシスチン尿症	0
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
	合計	2330

2) 難病特別対策推進事業「難病在宅ケア事業」

(1) 在宅療養支援計画策定・評価事業

在宅の重症難病患者の療養を支援するため、関係機関と相互連携して評価及び課題の検討を行うことにより、地域支援体制充実を図った。

① ケア会議参加（定例）

概ね第2火曜日：対象患者2名

事例疾患	検討内容	回数	出席者
筋萎縮性側索硬化症	在宅療養支援のための情報共有、支援者間の連携等	10回	地域主治医・看護師・ケアマネージャー・訪問看護師・ヘルパー・保健師等

(2) 訪問相談事業

在宅の重症難病患者・家族の精神的負担の軽減を図り不安を緩和し、地域の関係職種・機関が連携し、包括的な在宅支援を行える体制を整えるため、訪問、電話相談を行った。

① 家庭訪問

	病名	実人数	延人数
令和3年度	筋萎縮性側索硬化症	2	2
	計	2	2
令和2年度	筋萎縮性側索硬化症	3	3
	計	3	3
令和元年度	筋萎縮性側索硬化症	3	4
	多系統萎縮症	1	2
	スモン	1	1
	全身性強皮症	1	1
	計	6	8

② 来所相談

	実人数	延人数
令和3年度	4	4
令和2年度	3	3
令和元年度	28	28

③ 電話相談

	実人数	延人数
令和3年度	15	18
令和2年度	14	14
令和元年度	17	19

(3) 訪問看護師等育成事業<難病研修>

在宅支援に関わる関係機関が難病支援の理解と資質向上を図るため、研修を行った。

日時・場所	内容	対象者	参加数
令和4年2月25日(金) オンライン会議にて資料 配布	・意思伝達装置について ・特定医療費(指定難病)医療費助成制 度の概要、申請について	四日市地域のケアマネ ージャー等	101人

3) 災害時対応の支援

医療依存度の高い在宅療養患者の生命を維持するため、近隣の住民による円滑な支援ができるよう、在宅療養患者が生活している自治会へ資料配布を行った。

13. 感染症対策

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」(感染症法という。)に基づき、感染症の発生予防及び感染拡大防止に努め、その患者に対し、人権に配慮した適切な医療を提供するための必要な措置を行い、感染症対策を推進した。

また、発生動向調査により感染症情報を定期的に収集分析し、関係機関及び市民に情報提供を行った。

1) 感染症発生動向調査(感染症サーベイランスシステム)

感染症発生動向調査(感染症サーベイランスシステム:全国規模で情報を迅速に収集、分析、公開するオンラインシステム)を利用して、発生情報を国及び三重県に報告すると共に、感染症発生動向情報を受信し、ホームページにより市民に情報提供した。

2) 感染症患者の発生状況(新型コロナウイルス感染症除く)

(1) 一類・二類・三類感染症発生状況(二類:結核以外) (件)

	病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
三類感染症	細菌性赤痢	4	-	-
	腸管出血性大腸菌感染症	4	7	4

※一類・二類(結核以外)感染症の発生なし。

(2) 四類・五類感染症発生状況（全数報告対象疾患のうち届出のあったもの）

(件)

	病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
四類感染症	E型肝炎	1	2	1
	A型肝炎	1	-	1
	ツツガムシ病	1	2	-
	デング熱	-	-	1
	レジオネラ症	4	5	4
五類感染症	アメーバ赤痢	1	2	-
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	3	5
	急性脳炎	2	1	7
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	1
	後天性免疫不全症候群	3	4	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	10	9
	水痘(入院例に限る。)	2	-	2
	梅毒	23	10	13
	播種性クリプトコックス症	-	1	-
	百日咳	-	-	11
	風しん	-	-	1

(3) 病原体検査実施状況

(延人数)

病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
細菌性赤痢	23	-	-
腸管出血性大腸菌感染症	15	27	16
E型肝炎	-	2	1
咽頭結膜熱	2	-	-
インフルエンザ	-	-	2
A型肝炎	-	-	1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4	2	5
感染性胃腸炎	13	-	2
急性脳炎	2	1	7
呼吸器感染症一般	1	-	-
つつが虫病	1	1	-
手足口病	6	-	-
デング熱	-	-	1
日本紅斑熱	1	-	1
風しん	-	-	2
ヘルパンギーナ	2	-	-

麻しん	-	-	1
-----	---	---	---

(4) 社会福祉施設等における発生状況

社会福祉施設からの感染症発生の報告に対し、調査及び指導等を行った。(件)

施設種別	病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
社会福祉施設	感染性胃腸炎	2	-	1
	インフルエンザ	-	-	-

3) 衛生教育

感染症予防のための広報、ホームページ掲載、チラシの配布を行うとともに、自治会や企業、各種団体からの依頼により感染症予防のための健康教育を実施した。

また、福祉施設職員の感染症の及び食中毒の予防に対する意識を高め、正しい知識を日々の業務に活かすことにより、感染症発生時の拡大防止を図るため、福祉施設向けの啓発資料を配布した。

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
回数(回)	1	10	58
延人員(人)	208	338	1,421

感染症研修会

※新型コロナウイルス感染症の対応のため、開催を中止。

4) 新型コロナウイルス感染症対策

2019年12月、中華人民共和国で肺炎患者の集団発生が報告され、この原因不明の肺炎は、新型コロナウイルスが原因であることが判明した。この新型コロナウイルスによる感染症は、強力な対策にもかかわらず、世界に拡大し、2020年1月30日には、世界保健機関(WHO)が「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC: Public Health Emergency of International Concern)」と発表した。

日本国内では、2020年1月16日に初めて感染者が報告され、2月1日には新型コロナウイルス感染症を感染症法上の指定感染症(2類相当)、検疫法上の検疫感染症に指定した。3月13日には国民生活や経済、社会に重大な影響を与えるリスクに対し総合的な対策を講じられるよう、新型コロナウイルス感染症も新型インフルエンザ等対策特別措置法(以下「法」という。)の対象となるよう改正が行われた。さらに、2021年2月13日には「新型インフルエンザ等感染症」の定義に、新型コロナウイルス感染症及び再興新型コロナウイルス感染症が追加され、新型コロナウイルス感染症は新型インフルエンザ等として法の対象となった。

本市においても、相談窓口の設置や正確な情報の提供、地域の医療機関における診療・検査体制の整備等、関係機関との連携、協力のもと早期発見、まん延防止に努めた。

(1) 発生状況 (件)

病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新型コロナウイルス感染症	11,166	380	1

(2) 検査実施状況 (延人数)

病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新型コロナウイルス感染症	59,321	12,625	69

(3) 相談件数 (延人数)

病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新型コロナウイルス感染症	19,446	16,173	1,981

(4) 入院状況 (延人数)

病名	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新型コロナウイルス感染症	866	346	1

5) 特定感染症検査 (HIV 除く) の実施 (件)

	令和3年度				令和2年度			令和元年度		
	計	男	女	無回答	計	男	女	計	男	女
梅毒	304	211	92	1	276	179	97	378	268	110
B型肝炎	304	211	92	1	284	181	103	385	272	113
C型肝炎	306	212	93	1	285	182	103	386	274	112

※B型肝炎・C型肝炎検査：保健所内での実施分

6) B型・C型ウイルス性肝炎治療費助成及び肝がん・重度肝硬変治療費助成受給者証認定状況

B型・C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロン治療、C型ウイルス性肝炎の根治を目的に行うインターフェロンフリー治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行う核酸アナログ製剤治療、及び肝硬変・肝がんに関し新たな治療方法の研究開発の促進その他治療水準の向上を図ることを目的に行う肝がん・重度肝硬変治療に対して、医療費の自己負担分の一部を公費で助成する制度である。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行った。

令和3年度末現在認定者数 (人)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
インターフェロン治療	0	0	0
インターフェロンフリー治療	23	10	20
核酸アナログ製剤治療	218	231	216
肝がん・重度肝硬変治療	1	0	0

14. エイズ対策

感染者や患者への差別や偏見をなくすための知識普及と早期診断のための検査と相談を行った。

1) 保健所における HIV 抗体検査数 (件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
検査数	311	284	388
(夜間検査再掲)	77	75	126

2) 相談件数 (件)

	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	来所	電話	来所	電話	来所	電話
相談	2	23	1	50	9	77

※検査来所時の相談は含まず。

3) 啓発活動

(1) HIV 検査普及週間 (6月1日～6月7日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和3年6月2日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和3年6月9日(水) 17:30～19:00
- ② 市ホームページへの掲載
- ③ SNS 掲載 (Facebook、twitter)
- ④ 市ホームページのバナー広告掲載

(2) 世界エイズデー (12月1日) における活動

- ① 夜間検査の増設
検査実施日：令和3年12月1日(水) 17:30～19:00
結果報告日：令和3年12月8日(水) 17:30～19:00
- ② ホームページ掲載 (バナー広告)
- ③ 「世界エイズデー」ポスター掲示・配布 (配布先：市内学校(中学校、高等学校、専門学校、大学)、各地区市民センター等)
- ④ 拠点病院 (県立総合医療センター) にて啓発ポスター設置
- ⑤ 総合会館ロビーでのパネル展示 令和3年11月16日(火)～12月15日(水)
- ⑥ SNS 掲載 (Facebook、twitter)
- ⑦ 公用車への啓発ステッカー貼付
- ⑧ 働く世代へ情報を配信

(3) 性感染症に関する講座

性感染症の正しい知識の普及啓発を行うため、養護教諭等と連携協力し講座を開催
※令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止

(4) その他

- ① 医療機関にて啓発ポスターを掲示。
- ② 各地区市民センター、大学、専修学校に啓発ポスターの掲示、検査案内カードを配布。
- ③ 外国人向け啓発リーフレット(ポルトガル語、スペイン語、英語、中国語)を国際交流センターへ配布するとともに、同センターのホームページに資料掲載。

IV. 衛生指導課

1. 食品衛生

1) 食品営業・届出施設の監視指導状況

食の安全と安心を確保するために、四日市市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係事業者に対して監視指導を行った。特に食中毒発生時のリスク、取扱食品の流通の広域性、製造量などから重点的に監視する必要がある施設を中心に立入りをを行い、事業者の衛生管理の向上に努めた。

また、食品衛生法が改正され、令和3年6月1日より新たな営業許可・届出制度が開始したことやHACCPに沿った衛生管理の取り組みが義務化されたことから、新制度の理解と円滑な移行に努め、必要に応じて助言・指導した。

(業種別監視数)

○旧食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和3年度当初 施設数	令和3年度末 施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数	令和元年度 監視施設数
飲食店営業	3,413	2,802	370	808	1,368
菓子製造業	457	390	52	167	220
乳処理業	0	0	0	0	0
特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0
乳製品製造業	3	2	1	2	2
集乳業	0	0	0	0	0
魚介類販売業	374	119	52	106	210
魚介類せり売り業	3	3	1	0	2
魚肉ねり製品製造業	1	1	0	2	2
食品の冷凍冷蔵業	36	28	7	12	19
かん詰・びん詰製造業	15	12	1	3	1
喫茶店営業	565	245	15	35	120
あん類製造業	2	1	0	0	0
アイスクリーム類製造業	82	65	10	24	59
乳類販売業	428	0	0	88	189
食肉処理業	34	26	9	15	14
食肉販売業	381	92	39	132	180
食肉製品製造業	5	4	3	2	5
乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0
食用油脂製造業	7	5	2	2	2
マーガリン・ショートニング製造業	0	0	0	0	0
みそ製造業	8	5	0	0	1
醤油製造業	5	1	0	0	1

ソース製造業	6	4	2	4	2
酒類製造業	7	6	2	1	1
豆腐製造業	6	4	2	0	2
納豆製造業	0	0	0	0	0
めん類製造業	26	21	6	8	15
総菜製造業	59	48	12	16	21
添加物製造業	29	18	5	4	6
食品の放射線照射業	0	0	0	0	0
清涼飲料水製造業	6	5	2	3	2
氷雪製造業	4	3	1	0	2
氷雪販売業	6	0	0	0	0
計	5,968	3,910	594	1,434	2,446

○改正食品衛生法に基づく許可を要する食品関係営業施設

	令和3年度当初 施設数	令和3年度末 施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数	令和元年度 監視施設数
飲食店営業	0	598	637	—	—
調理の機能を有する自動販売機による営業	0	1	1	—	—
食肉販売業	0	18	22	—	—
魚介類販売業	0	25	31	—	—
魚介類競り売り業	0	0	0	—	—
集乳業	0	0	0	—	—
乳処理業	0	0	0	—	—
特別牛乳搾取処理業	0	0	0	—	—
食肉処理業	0	6	7	—	—
食品の放射線照射業	0	0	0	—	—
菓子製造業	0	67	77	—	—
アイスクリーム類製造業	0	4	5	—	—
乳製品製造業	0	0	0	—	—
清涼飲料水製造業	0	1	1	—	—
食肉製品製造業	0	1	2	—	—
水産製品製造業	0	0	0	—	—
氷雪製造業	0	0	0	—	—
液卵製造業	0	1	0	—	—
食用油脂製造業	0	2	2	—	—
みそ又はしょうゆ製造業	0	5	6	—	—
酒類製造業	0	1	1	—	—

豆腐製造業	0	1	1	—	—
納豆製造業	0	0	0	—	—
麺類製造業	0	3	3	—	—
そうざい製造業	0	21	19	—	—
複合型そうざい製造業	0	1	1	—	—
冷凍食品製造業	0	1	2	—	—
複合型冷凍食品製造業	0	1	2	—	—
漬物製造業	0	3	3	—	—
密封包装食品製造業	0	5	6	—	—
食品の小分け業	0	7	8	—	—
添加物製造業	0	12	11	—	—
計	0	785	848	—	—

○届出を要する食品関係営業施設

		令和3年度当初 施設数	令和3年度末 施設数	令和3年度 監視施設数	令和2年度 監視施設数	令和元年度 監視施設数
旧許可 業種で あった 営業	魚介類販売業 (包装)	0	102	9	—	—
	食肉販売業 (包装)	0	134	14	—	—
	乳類販売業	0	267	27	—	—
	冰雪販売業	0	4	0	—	—
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	0	262	0	—	—
販売業	弁当販売業	0	3	0	—	—
	野菜果物販売業	0	46	6	—	—
	米穀類販売業	0	26	0	—	—
	通信販売・訪問販 売による販売業	0	2	0	—	—
	コンビニエンス ストア	0	93	16	—	—
	百貨店、総合 スーパー	0	67	18	—	—
	自動販売機による販 売業(コップ式以外)	0	86	2	—	—
	その他の食料・ 飲料販売業	0	201	16	—	—

製造・加工業	添加物製造・加工業	0	14	5	—	—
	いわゆる健康食品の製造・加工業	0	4	1	—	—
	コーヒー製造・加工業	0	13	1	—	—
	農産保存食料品製造・加工業	0	2	0	—	—
	調味料製造・加工業	0	4	1	—	—
	糖類製造・加工業	0	1	0	—	—
	精穀・製粉業	0	3	0	—	—
	製茶業	0	35	1	—	—
	海藻製造・加工業	0	1	0	—	—
	卵選別包装業	0	7	1	—	—
その他	その他の食料品製造・加工業	0	31	5	—	—
	行商	0	2	0	—	—
	集団給食施設（20食以上）	0	148	14	—	—
	器具、容器包装の製造・加工業（合成樹脂）	0	17	0	—	—
	露店、仮設店舗等における飲食の提供のうち、営業とみなされないもの	0	0	0	—	—
その他	0	1	0	—	—	
計		0	1576	137	—	—

（ランク別監視数）

項目 ランク	監視頻度 （目安）	対象施設数 （令和3年度当初施設数）	令和3年度 監視数（件）	令和3年度 監視実施率（%）
A	1回以上／1年	292	324	111.0
B	必要に応じて	6,409	1,389	21.7

ランクA：食中毒が発生した場合に大規模となる可能性が高い施設（大量調理を行う飲食店営業、大量調理を行う集団給食施設、大規模小売り店舗、広域流通させる製造業）等
 ランクB：A以外の施設

2) 食品等の収去検査等実施状況

市内において生産、製造、加工及び販売される食品等の抜き取り検査（収去検査）を行い、食品衛生法、食品表示法に定める規格基準等に基づき指導を行うことで不良・違反食品を排除し、食中毒、食品事故の未然防止に努めるとともに、事業者の自主衛生管理の強化を図った。

令和3年度は、収去検査を270件実施した結果、四日市市食品の衛生管理指標に基づく不適合が8件判明したため、その製造業者に改善指導等を実施した。

(乳以外の食品の収去検査)

分類 \ 項目	令和3年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	市指標 不適件数	令和2年度 収去検体数	令和元年度 収去検体数
魚介類	10	0	0	1	10	10
魚介類加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	11	0	0	0	14	14
肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	15	0	0	0	12	16
乳製品	0	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	11	0	0	0	11	21
野菜・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	29	0	0	0	25	31
菓子類	33	0	0	6	33	37
清涼飲料水	2	0	0	0	0	4
かん詰・びん詰食品	2	0	0	0	0	7
その他の食品	154	0	0	1	94	166
器具及び容器包装	1	0	0	0	1	3
合計	268	0	0	8	200	309

(乳の収去検査)

分類 \ 項目	令和3年度 収去検体数	規格基準 違反件数	表示 違反件数	令和2年度 収去検体数	令和元年度 収去検体数
牛乳	2	0	0	2	2
合計	2	0	0	2	2

(拭取り検査・ATP検査)

分類 \ 項目	令和3年度 収去検体数	令和2年度 収去検体数	令和元年度 収去検体数
器具等拭取検査	40	24	0
器具等ATP検査	202	10	130

3) 食品等の要望・申出・相談・調査対応状況

「食品を食べて体調を崩した。」、「食品中に異物（虫、毛等）が入っていた。」など市民からの相談に対して食品等の調査を実施した。また、広域的な食中毒事案の際や不良食品等の調査については、関係の都道府県、政令市等と緊密な情報交換を行い、その原因究明と被害拡大防止に努めた。

(要望・申出・相談・調査件数)

分類	項目	有症者・	食品要望	表示相談・	合 計
		食中毒(疑いを 含む) 相談・ 調査件数	申出・相談 ・調査件数	調査件数	
内 訳	当市での対応	25	40	10	75
	市外から調査依頼	1	1	0	2
	市外への調査依頼	2	2	0	4
令和3年度		28	43	10	81
令和2年度		29	64	10	103
令和元年度		27	76	14	117

4) 食中毒の発生

食中毒は2件発生し、原因物質はいずれもノロウイルスであった。原因施設に対して衛生指導を行い、再発防止を図った。

発生年月	原因施設	患者数	原因食品	原因物質
令和3年5月	飲食店	10名	不明 (令和3年5月10日から 12日に調理された弁当)	ノロウイルス
令和3年11月	飲食店	48名	不明 (令和3年11月17日に調 理された弁当)	ノロウイルス

5) 食中毒警報

令和3年度は、食中毒警報を2回発令した。発令時には関係機関に情報提供を行うとともに、掲示板、立て看板、ホームページ、四日市市安全安心防災メール、市内ケーブルテレビのデータ放送にて情報発信した。

令和3年度	発令 基準※	令和2年度	発令 基準※	令和元年度	発令 基準※
発令月日		発令月日		発令月日	
7月19日	(1)	8月5日	(1)	7月30日	(1)
8月4日	(1)	8月17日	(1)	9月9日	(1)

※食中毒警報発令基準

- (1) 気温 30℃以上が 10 時間以上継続することが予想される場合
- (2) 気温 25℃以上で相対湿度 90%以上が 10 時間以上継続することが予想される場合

- (3) 24時間以内に急激に気温が上昇し、その差が10℃以上を超えることが予想される場合
 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、食中毒及び感染症の発生状況等を勘案し、特に必要があると認める場合

警報の有効期間：警報発令後 48 時間

6) 食品衛生知識の普及啓発

食品等事業者に対し、食品衛生講習会を定期的で開催し、食中毒予防やHACCPに沿った衛生管理について説明した。また、市民への食品衛生知識の普及啓発などを目的として、講習会等を実施した。

更に、「広報よっかいち」に食中毒予防に係る啓発記事を掲載すると共に、8月12日には大型複合施設1店舗において、四日市食品衛生協会と協働し食中毒防止の注意喚起や啓発物品を配布して幅広く食中毒防止について普及啓発を行った。

(食品衛生講習会等の実施状況)

講習会対象者	項目	令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		実施回数	参加人数	実施回数	参加人数	実施回数	参加人数
食品事業者		28	1,168	28	1,018	47	1,742
給食関係従事者		1	160	0	0	3	314
食生活改善推進員		1	58	2	47	2	78
消費者		1	20	3	73	6	183
その他		0	0	0	0	7	88
合計		31	1,406	33	1,138	65	2,405

2. 獣医務衛生

飼い犬の登録など動物病院と連携して狂犬病予防注射を実施した。また、係留されていない犬の捕獲等を行うことで狂犬病の被害防止に努めた。

また、三重県動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、動物による人への危害防止、動物取扱業の監視指導、動物の適正飼養の普及啓発を行った。

1) 畜犬登録及び狂犬病予防注射実施状況 (頭)

	登録数			注射頭数		
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
登録頭数	19,452	19,493	19,683			
新規登録数	1,390	1,312	1,343			
総注射頭数				14,070	14,001	14,054
集合注射頭数				1,208	1,271	1,180
家庭注射頭数				12,862	12,730	12,874

2) 犬及び猫の捕獲・引取・処分状況 (頭)

	犬					猫			
	捕獲	引取	返還	処分	譲渡	引取	返還	処分	譲渡
令和3年度	36	25	48	1	12	69	0	35	34
令和2年度	32	25	45	1	11	81	2	53	26
令和元年度	47	33	60	1	19	80	1	54	25

3) 畜犬及び猫等の相談・問い合わせ状況 (件)

令和3年度	犬	猫	その他の動物
飼い方指導依頼 (糞尿・放し飼い・鳴き声等)	93	73	6
野犬・放浪犬保護依頼	66	-	-
負傷・死亡収容 (36条) 依頼	6	40	3
引取り (35条) 依頼	36	83	7
失踪照会	191	114	10
その他	220	275	48
TNR依頼	-	6	-
動物取扱業に関する通報	21		
特定動物に関する通報	0		
人獣共通感染症に関する相談	5		
ペット防災に関する相談	2		
犬の登録注射に関すること	1332		
避妊去勢手術補助に関すること	233		

4) 第一種動物取扱業届出数及び監視状況 (件)

	総施設数	区分							計	
		販売	保管	貸出	訓練	展示	譲受飼養	競りあっせん		
令和3年度	登録数	98	54	58	3	10	6	1	0	132
	監視数	36	19	21	0	3	4	1	0	48
令和2年度	登録数	97	54	58	3	9	5	1	0	130
	監視数	21	7	16	0	2	0	3	0	28
令和元年度	登録数	91	53	52	3	8	5	1	0	122
	監視数	24	16	14	4	3	4	1	0	42

5) 動物による咬傷事故状況 (届出件数)

	犬	犬以外
令和3年度	7	0
令和2年度	7	0
令和元年度	15	0

6) 特定動物飼養状況 (件)

	大	小
令和3年度	3	0
令和2年度	3	0
令和元年度	0	0

3. 生活衛生

市民が安心して施設を利用できるよう、専門的な観点から理容所、美容所、公衆浴場などの生活衛生関係施設の監視を行い、自主的な衛生管理の推進を図った。

(営業施設数及び監視件数等の状況)

	施設数 (令和3年 4月1日現在)	開設数	令和3年度 監視件数	令和2年度 監視件数	令和元年度 監視件数
		廃止数			
理容所	242	3 10	16	53	56
美容所	626	30 9	112	132	126
クリーニング所	工場 45	0 5	工場 11	工場 15	工場 13
公衆浴場	29	0 0	6	16	20
興行場	7	1 0	1	1	3
旅館業	69	1 0	38	14	20
総数	1,018	35 24	184	231	238

4. 薬 務

1) 不正大麻・けし撲滅運動

大麻、けしの不正栽培及び自生大麻・けしを撲滅するため、市民に対し「植えてはいけないけしの花」チラシ及びポスター、リーフレット（厚生労働省編、けし・大麻の見分け方）の配布による普及啓発を図るとともに、その発見除去に努めた。

管内における自生けしの発見は421箇所、35,446本あり、除去焼却した。

◇ 不正大麻・けし撲滅運動期間：令和3年4月1日～令和3年6月30日

2) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動

国連決議による「6.26国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、薬物乱用防止啓発運動を実施した。

◇ 運動期間：令和3年6月20日～令和3年7月19日

◇ 街頭キャンペーン：令和3年7月4日 近鉄四日市駅北口ふれあいモール

近鉄四日市駅北口ふれあいモールにおいて、啓発資材の配付とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

参加者：51人 啓発者数：2,500人

3) 薬物乱用防止教室の推進

薬物乱用防止教室を希望する市内小学校・中学校について教育委員会と連携し学校薬剤師、ライオンズクラブ等に講師要請を行った。また、各種講習会や薬物乱用防止教室において薬物乱用防止普及啓発に努めた。

◇ 「薬物乱用防止教室への講師派遣」：20件

◇ 「各種講習会における薬物乱用防止啓発」：35件

4) 麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動

◇ 運動期間：令和3年10月1日～令和3年11月30日

◇ 街頭啓発：令和3年11月18日 参加者：36人 啓発者数：3,000人

近鉄四日市駅北口ふれあいモールにおいて、啓発資材の配付とプラカードを掲げて、薬物乱用防止について広く市民へ普及啓発を行った。

5) その他の啓発活動

◇ 街頭キャンペーン：令和3年4月4日

ダメ。ゼッタイ。薬物乱用防止啓発キャンペーン 四日市大会

河原田地区「ふるさとサロンかわらだ」にて地域住民と連携し、河原田踊り同好会による演舞の披露や乱用薬物に関するパネルコーナー等を設け来場者に対して啓発活動を実施した。

参加者：67人 啓発者数：120人

◇ 広報啓発：年間

広報よっかいち10月上旬号、CTY「ちゃんねるよっかいち」、CTY-FM「マンスリーよっかいち」、「アロー四日市」、において薬物乱用防止啓発放送を行った。年間をとおし、地域でのお知らせ等日本語のみならずポルトガル語等も含め啓発を行った。

6) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律等に基づく指導

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」や「毒物及び劇物取締法」等の関係法令に基づき、医薬品や毒物及び劇物を取り扱う事業者に対して、監視指導を行い、医薬品の安全性、適正な流通の確保を図るとともに、毒物及び劇物の取扱いの徹底を図ることによる健康被害や事故の発生防止に努めた。

(薬務六法に基づく施設数及び監視数)

業 種		事 項	許可・届出数	令和3年度監視数	令和2年度監視数	令和元年度監視数
医 薬 品	薬 局		161	96	68	100
	薬 局 製 造 医 薬 品 製 造 業		10	3	2	4
	薬 局 製 造 販 売 業		10	3	2	4
	店 舗 販 売 業		59	25	19	36
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			9	10	24
医薬部外品	販 売 業			120	68	142
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			11	11	23
化粧品	販 売 業			65	52	118
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			1	4	5
医療機器	販 売 業	高度管理医療機器等	155	83	50	64
		管 理 医 療 機 器	793	148	89	191
		一 般 医 療 機 器		148	89	195
	貸 与 業	高度管理医療機器等	90	51	37	38
		管 理 医 療 機 器	54	64	43	44
		一 般 医 療 機 器		64	43	44
	業 務 上 取 り 扱 う 施 設			10	11	23
毒物劇物	一 般 販 売 業		204	71	42	77
	農 業 用 品 目 販 売 業		36	10	7	15
	特 定 品 目 販 売 業		3	1	1	1
	業 務 上 取 扱 者	電 気 メ ッ キ	2	1	0	1
		運 送 業	16	6	2	9
	非 届 出 業 務 上 取 扱 者			11	13	42
麻 薬	小 売 業			86	65	89
	病 院			5	5	17
	一 般 診 療 所			4	6	5
	家 畜 診 療 所			1	0	1
覚醒剤原料	薬 局			96	64	100
	病 院 / 診 療 所 / 家 畜 診 療 所			10	11	22
総 数			1,593	1,203	814	1,434

V. 食品衛生検査所

1. 食肉検査

1) と畜検査

と畜場法第 14 条に基づき四日市市食肉センターに搬入された牛、豚などの全頭検査を実施した。精密検査が必要な場合は、枝肉内臓等を保留して病理、微生物、理化学等の検査を実施し合否判定を行った。

と畜検査頭数 (頭)

年 度	牛	豚
令和 3 年度	3,901 (とく※4 含む)	93,213
令和 2 年度	3,924 (とく※3 含む)	90,663
令和元年度	4,520 (とく※1 含む)	84,220

※とく…1 歳未満の牛のこと

2) 食鳥検査 (立入検査)

食鳥処理事業の規制及び食鳥検査に関する法律第 38 条に基づき、認定小規模処理施設で処理される食鳥肉における安全性の確保並びに処理施設の監視指導を行った。

	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
認定小規模処理施設数(ヶ所)	2	2	3
監視件数(件)	2	2	5
収去検査件数(件)	1	2	2

3) 食肉安全対策

と殺・解体工程、枝肉、冷蔵庫及び食肉処理室等の細菌汚染調査を行った。検査結果に基づき、と畜場・食鳥処理施設の衛生指導を実施した。

(件)

検査項目	令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
腸管出血性大腸菌 (O157)	111	107	97
サルモネラ	169	183	187
カンピロバクター	3	6	6
一般生菌数	238	319	515
大腸菌群数	108	319	509
腸内細菌科菌群数	100	-	-
監視件数	1	1	2
合 計	730	935	1,316

2. 試験検査

1) 牛海綿状脳症（BSE）検査

と畜場に搬入された牛についてBSEの検査を実施した。

BSE 検査結果

(頭)

年 度	検査数	陰性数
令和3年度	0	0
令和2年度	0	0
令和元年度	0	0

2) 畜産食品残留有害物質検査

食肉及び食鳥肉の残留抗菌性物質等の検査を実施した。

(件)

検査項目	令和3年度	令和2年度	令和元年度
抗生物質	331	300	267
合成抗菌剤	18	9	27
テトラサイクリン類	18	9	27
内部寄生虫薬	18	9	26
合計	385	327	347

3. 衛生検査

1) 食品衛生関連検査

○食品収去 規格基準検査・衛生管理指標検査

(件)

検体種別	令和3年度			令和2年度 検体数	令和元年度 検体数
	検体数	不適合件数			
		指標	規格		
生食用魚介類	8	1	0	8	8
生食用かき	2		0	2	2
魚肉練り製品	10		0	10	10
食肉製品	10		0	10	10
豆腐	5	0		5	5
生洋菓子	20	5		20	20
生和菓子	10	1		10	10
調理ご飯	20	1		30	30
調理パン	20	0		20	20
漬物	10	0		10	10
生めん	3	0		2	4
ゆでめん	7	0		8	16
惣菜	59	0		41	59
学校給食	48	0		0	46
計	232	8	0	176	250

○食中毒及び有症苦情の微生物検査

(件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
検体数		92	199	63
陽性内訳	ノロウイルス	25	26	10
	サルモネラ属菌	0	22	0
	カンピロバクター属菌	4	5	6
	黄色ブドウ球菌	0	2	1
	アニサキス	0	1	0

○毒物迅速検査

(件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
検体数	1	0	0

2) 感染症関連検査

○感染症血清学的検査

(件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
検体数		312	285	388
内 訳	H I V	311(2)	284	388(1)
	H B s A g	304	284(2)	385(1)
	H C V	306(2)	285	386
	S T S	304(5)	276(6)	378(4)
	T P	304(14)	276(12)	378(5)

※ ()内は陽性件数

○感染症発生時及び検疫通報時の防疫検査

(件)

		令和3年度	令和2年度	令和元年度
検体数		51	30	16
内 訳	腸管出血性大腸菌	17(2)	27(5)	16(2)
	腸チフス	0	3	0
	細菌性赤痢	23(3)	0	0
	食中毒細菌	8	0	0
	ノロウイルス	11(4)	0	0
	アデノウイルス	11	0	0
	ロタウイルス	11	0	0

※ ()内は陽性件数

VI. こども保健福祉課

1. 母子保健事業

1) 安心して出産するために

(1) 母子健康手帳の交付

母子健康手帳を交付し、出産までの経緯や児の成長を記録することで、母並びに乳幼児の健康の保持及び増進を図った。

交付者数（人）

令和3年度	令和2年度	令和元年度
2,393	2,362	2,533

(2) 妊婦一般健康診査

妊婦を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施して、安全な分娩と健康な児の出生を支援した。また、里帰り出産等のために、県外で妊婦健康診査を受診した場合の、受診費用の補助を行った。

① 県内医療機関受診者数（人）

年 度	妊 娠 届出者数	① 1～5回目	② 6～14回目	合計（①+②）
		総受診者数	総受診者数	総受診者数
令和3年度	2,277	10,852	15,631	26,483
令和2年度	2,266	10,474	14,668	25,142
令和元年度	2,397	11,528	15,984	27,512

② 県外医療機関等受診費用補助申請件数（件）

年 度	補助申請件数（件）
令和3年度	324
令和2年度	349
令和元年度	415

③ 県外医療機関等受診費用補助回数（回）

年 度	補助申請回数（回）
令和3年度	1,332
令和2年度	1,430
令和元年度	1,574

(3) 多胎児妊婦健康診査等費用助成補助事業

多胎児妊娠中の妊婦が、通常の14回分の妊婦健康診査に加えて、検査などのために要した健診費用の助成を行った。(令和3年4月～実施)

補助申請件数

年度	申請件数	実人員
令和3年度	3	2

(4) 育児学級「パパママ教室」

妊婦とその家族を対象に、妊娠・育児に関して模擬体験を交えた具体的な指導を行うことにより、母性父性の健全な育成を行った。(年間14回開催：うち4回は日曜日に開催)

参加者数(人)

年度	妊婦	家族	合計
令和3年度	221	219	440
令和2年度	245	233	478
令和元年度	226	214	440

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9月、令和4年2月、令和4年3月は中止。

(5) 産前・産後サポート事業

妊産婦および乳児の母親を対象に、電話相談、来所相談、訪問指導等を実施することにより、悩みや不安等を解消し、産前産後に安心して生活が送れるよう支援した。

相談件数(件)

年度	産前			産後			合計
	電話	訪問	その他	電話	訪問	その他	
令和3年度	316	1	76	35	100	0	528
令和2年度	358	0	98	27	88	0	571
令和元年度	448	1	102	2	134	0	687

(6) 妊婦新型コロナウイルス感染症検査費用補助事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、自身だけでなく胎児及び新生児の健康等について強い不安を抱えながら生活を送っている妊婦の不安を解消するため、本人の希望によって、新型コロナウイルス感染の有無を確認するために、出産前にPDR検査を実施した場合の検査費用を助成した。(令和2年8月15日より実施)

年度	検査実施者数 (件)	うち陽性者 (件)	うち陰性者 (件)	うち不明 (件)
令和3年度	658	0	652	6
令和2年度	327	0	327	0

(7) 産婦健康診査事業

産後2週間頃、産後1か月頃の時期に、母体の回復状況や授乳状況、精神状態を把握し、早期に必要な支援につなぐことで、産後うつ等を予防するため、産科医療機関等に委託して、健康診査を実施した。(平成30年1月開始、一人2回まで)

① 県内医療機関受診件数 (件)

	実施時期	受診件数 (件)	うち EPDS9 点以上 または 質問項目 10 番 1 点以上件数 (件)
令和3年度	産後2週間	1,302	133(10.2%)
	産後1か月	2,005	186(9.3%)
	計	3,307	319(9.6%)
令和2年度	産後2週間	1,158	139(12.0%)
	産後1か月	1,902	216(11.4%)
	計	3,060	355(11.6%)
令和元年度	産後2週間	1,010	108(10.7%)
	産後1か月	2,089	225(10.8%)
	計	3,099	333(10.7%)

② 県外医療機関等受診費用補助申請人数 (人)

年度	補助申請人数 (件)
令和3年度	206
令和2年度	189
令和元年度	216

③ 県外医療機関等受診費用補助回数 (回)

年度	補助申請回数 (回)	うち EPDS9 点以上 + 質問項目 10 番 1 点以上件数 (件)
令和3年度	317	32
令和2年度	284	20
令和元年度	326	29

(8) 産後ケア事業

心身ともに不安定になりやすい産後1年未満の時期に、家族から援助を受けることができず、育児支援を必要とする母子に対して、家庭訪問や医療機関等の施設にて、助産師等による、乳房管理や沐浴を含む心身のケアおよび育児サポートを行った。(平成29年10月開始、令和3年4月から利用期間を産後1年に拡大、令和3年7月からデイケア型と宿泊型が追加された。利用回数は産後1年の間に7回まで)

○利用内訳(延べ人数)

()内は実人員

年 度	訪問型	デイケア型	宿泊型	合計利用回数(延べ回数)(回)	利用決定件数(件)
令和3年度	148 (67)	128 (43)	3 (2)	279	107 (※1)
令和2年度	170 (47)			170	50 (※2)
令和元年度	69 (16)			69	16 (※3)

※1 うち13人は利用なし、前年度から継続9

※2 うち3人は利用なし、前年度から継続1

※3 前年度から継続1

(9) 新生児聴覚スクリーニング検査費用補助事業

経済的な理由で、出生後に新生児聴覚スクリーニング検査を受けられず、先天性難聴の発見が遅れることがないように、生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の人に対して、検査費用の助成を行った。

年 度	所得状況	申請件数(件)	交付件数(件)
令和3年度	生活保護受給世帯	9	4
	非課税世帯	2	2
	課税世帯(対象外)	0	0
	合 計	11	6
令和2年度	生活保護受給世帯	12	10
	非課税世帯	2	2
	課税世帯(対象外)	0	0
	合 計	14	12
令和元年度	生活保護受給世帯	6	2
	非課税世帯	9	6
	課税世帯(対象外)	0	0
	合 計	15	8

2) 児の発達、成長の確認のために

(1) 乳児一般健康診査

4 か月児、10 か月児を対象に、健康診査（医療機関に委託）を実施し、成長の確認とともに、障害等を早期に発見して必要な支援につなげた。

受診者数（人）

年 度	4 か月児			10 か月児		
	対象者数	受診者数	受診率 (%)	対象者数	受診者数	受診率 (%)
令和3年度	2,194	2,132	97.2	2,125	2,039	96.0
令和2年度	2,250	2,194	97.5	2,357	2,302	97.7
令和元年度	2,363	2,318	98.1	2,341	2,220	94.8

(2) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に健康診査を実施し、心身の障害等を早期に発見し、適切な支援につなげるとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。（年間36回開催）

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率 (%)
			経過観察者数	経過観察率 (%)	
令和3年度	2,359	2,281	782	29.1	96.7
令和2年度	2,312	2,262	714	31.6	97.8
令和元年度	2,437	2,333	702	30.1	95.7

(3) 3歳児健康診査

3歳児を対象に、健康診査を実施し、視聴覚、運動・発達等心身障害やその他疾病等の進行を未然に防止するとともに、生活習慣の自立、むし歯の予防、栄養、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図った。（年間36回開催）

受診者数（人）

年 度	対象者数	受診者数	受診者のうち		受診率 (%)
			経過観察者数	経過観察率 (%)	
令和3年度	2,391	2,253	214	9.5	94.2
令和2年度	2,387	2,299	184	8.0	96.3
令和元年度	2,542	2,409	196	8.1	94.7

(4) 乳幼児事後継続指導心理発達相談

健診や相談後にその内容に伴い、児と保護者を対象に、心理発達相談員による心身の発達・育児不安等の継続指導を行い、児の健康増進、保護者への育児支援を図った。必要な場合には専門機関の紹介を行った。

相談者数(人)

年 度	心身の発達相談数	育児不安相談数	合計
令和3年度	452	4	456
令和2年度	426	1	427
令和元年度	434	3	437

(5) 親子教室「ラッコ」、「イルカ」

各種健診、相談において、発達遅滞・発達障害や育児不安が疑われる児と保護者を対象に、定期的な集団指導を行うことにより、児の発達を促すための適切な関わり方を学ぶ機会を設け、育児不安の解消を図った。

- ① 親子教室「ラッコ」参加者数(人)：概ね1歳6か月から2歳6か月頃の児。

(年間8回開催)

年 度	実人員	延人員
令和3年度	44	81
令和2年度	48	101
令和元年度	52	117

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9月、令和4年1月、2月、3月は中止。

- ② 親子教室「イルカ」参加者数(人)：概ね2歳6か月以上の幼児。

(年間9回開催)

年 度	実人員	延人員
令和3年度	31	66
令和2年度	35	88
令和元年度	40	97

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9月、令和4年2月、3月は中止。

3) 育児支援

(1) 育児相談室 すくすくルーム

妊娠期から、子育て期にわたる様々な不安や悩みについて、気軽に立ち寄り保健師や看護師に相談できる場として「すくすくルーム」を開設。必要な指導、助言を行った。

相談者数 (人)

※平成 28 年 4 月開設

年 度	相談者数		
	乳 児	幼 児	合 計
令和 3 年度	834	437	1,271
令和 2 年度	707	500	1,207
令和元年度	1,681	702	2,383

(2) 妊産婦・乳幼児電話・来所相談

妊産婦または乳幼児の保護者を対象に、母性または乳幼児の健康保持及び増進のために、電話または来所により、随時、必要な指導助言を行った。

相談者数 (人)

年 度	総 数	相談状況内訳	
		来所相談	電話相談
令和 3 年度	12,724	1,087	11,637
令和 2 年度	13,523	1,037	12,486
令和元年度	13,600	1,402	12,198

(3) 訪問指導

妊産婦訪問指導

若年妊産婦、訪問を希望する妊産婦または医療機関からの情報提供を受けた妊産婦を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、妊娠、出産、育児等を支援した。

新生児訪問指導（生後 28 日未満の児）

訪問希望または医療機関からの情報提供を受けた新生児を対象に、保健師や助産師が家庭訪問し、新生児の発育、栄養、環境、疾病予防等を支援した。

乳幼児訪問指導

生後 28 日以降の乳児で、訪問希望または、育児等に支援を必要とする児を中心に日常生活における適切な育児指導を実施することにより、児の健全な発達を支援した。

実施者数（人）：市内に住所のある人

年 度	妊婦		産婦		新生児 (未熟児を除く)		乳児（新生児、 未熟児を除く）	
	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
令和3年度	62	71	777	1,631	172	249	1,955	2,803
令和2年度	61	74	824	1,477	152	222	1,936	2,653
令和元年度	74	119	797	1,315	136	203	2,128	3,000

未熟児(※)		幼児		その他		合計	
実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員	実人員	延人員
195	245	148	250	3	10	3,312	5,259
173	236	158	245	2	2	3,306	4,909
189	215	130	302	1	4	3,455	5,158

(4) こんにちは赤ちゃん訪問事業

おおむね生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を、保健師、助産師、看護師及びこんにちは赤ちゃん訪問員が全戸訪問し、子育て支援に関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービスの提供に結びつけた。

実施者数（人）（※訪問指導より、再掲）

年 度	実人員	内 訳				うち市とこ んにちは赤 ちゃん訪問 員が重ねて 訪問した者
		市スタッフ		こんにちは赤ちゃん訪問員		
		実人員	うち継続 支援者	実人員	うち継続 支援者	
令和3年度	2,249	730 (32.5%)	462	1,519 (67.5%)	261	29
令和2年度	2,241	814 (36.3%)	580	1,427 (63.7%)	217	23
令和元年度	2,478	797 (32.2%)	498	1,681 (67.8%)	245	25

※実施者数は対象者数（転居、不在、死亡等含む）

(5) 乳幼児食教室

乳幼児の保育者を対象に、乳幼児期の食生活の指導を通じて、児の健やかな成長を支援した。

(年間 22 回開催)

参加者数 (組)

年度	前期 (5~8 か月児)	後期 (9~12 か月児)	合計
令和 3 年度	164	81	245
令和 2 年度	261	115	376
令和元年度	438	241	679

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9/7・9/17・R4. 1/25・2/4・2/18・2/22・3/4・3/15
開催分は中止。

(6) パンダひろば

生後 6 か月未満の乳児と保護者を対象に、同年代の子どもを持つ親同士がお互いに育児に関する不安や悩みを共有し、仲間づくりのきっかけとなる教室を開催した。(年間 9 回)

参加者数 (組)

令和 3 年度	令和 2 年度	令和元年度
354	288	713

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9 月、令和 4 年 1 月 2 月開催分は中止。

(7) さくらんぼひろば

未就園の多胎児とその保護者を対象に、保護者同士が、多胎児育児の悩みや不安、および多胎児を育てる喜びや楽しみを共有することで、多胎児育児の負担の軽減となる教室を開催した。(年間 9 回)

参加者数 (組)

年度	令和 3 年度	令和 2 年度
組	43	56
人数	134	185

※新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、9 月、令和 4 年 2 月 3 月開催分は中止。

4) 子どもの歯を守るために

(1) 妊婦歯科幼児歯科健康診査

妊婦に対する歯科健康診査を実施することにより、妊婦及び生まれてくる子の口腔衛生の向上を図り、また幼児に対する歯科健康診査とフッ素塗布を実施することにより、乳歯の歯質の強化とう蝕予防を図った。

受診者数 (人)

年度	妊婦歯科健康診			幼児歯科健康診査		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	受診者数	受診率
令和 3 年度	3,944	910	23.1	4,731	1,537	32.5

※対象者数については、令和 3 年度新規実施により、前年度に対象となる妊婦及び幼児に対しても案内通知を行ったため実際の対象者数よりも多くなっています。

(2) 1歳のバースデー歯科教室

10か月から1歳4か月未満の乳幼児と保護者を対象に、萌出間もない乳歯を含む口腔清掃方法の指導およびむし歯予防の啓発を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(年間17回開催)(令和3年4月より実施)

参加者数

令和3年度	
組	225
子ども(人)	228
保護者(人)	241

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月、令和3年9月、令和4年2月、令和4年3月合計7回分中止。

(3) 2歳のバースデー歯科教室

2歳0か月から2歳4か月未満の幼児と保護者を対象に、むし歯予防の啓発と指導、希望者に対するフッ化物応用を行い、乳歯・永久歯の健全な育成、保持を図った。(年間15回開催)(令和3年4月より実施)

参加者数

令和3年度	
組	119
子ども(人)	121
保護者(人)	135

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年8月、令和3年9月、令和4年1月、令和4年2月、令和4年3月合計9回分中止。

5) 地域での子育て支援

(1) 他機関における子育て支援事業への支援

保育園、子育て支援センターなど身近な育児の交流の場へ、保健師や看護師、栄養士が出向いて育児相談を行いました。関係機関や民生児童委員らと連携した育児支援を行うことにより、育児不安の解消を図った。

参加者数（人）

事業名	令和3年度			令和2年度			令和元年度		
	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数	参加回数	教育参加者数	相談者数
子育て支援C (保育園併設型)	22		98	51		216	51		265
子育て支援C (単独型)	18		41	20		82	22		115
民生委員 児童委員主催等	3		8	9		32	27		123
保育園あそぼう会	3		15	2		10	4		12
幼稚園あそび会	0		0	0		0	1		2
保健師相談計	46		162	82		340	105		517
管理栄養士相談	17		70	31		131	40		158
管理栄養士 依頼による教育等	0		0	0	0	0	0	0	0
歯科医師・歯科衛生士 地区依頼	1	2	2	2	34	6	4	59	26

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため8月から10月、12月から令和4年3月は中止

6) 情報提供

(1) 乳幼児事故予防対策

妊産婦、乳幼児と保護者を対象に、乳幼児の事故予防方法について情報提供、指導を行った。教室は年間1回開催し、啓発は、健診や相談の機会に随時行った。

参加者数（人）

年度	参加者数	内訳			
		乳児同伴	幼児同伴	妊婦のみ	保護者
令和3年度	23	1	6	0	16
令和2年度	36	9	3	0	24
令和元年度	29	10	3	0	16

7) 中学生ピロリ菌検査事業

日本の胃がんの95%を原因とされているピロリ菌感染の有無を、胃粘膜の萎縮のない若い世代のうちに確認し、除菌治療につなげることで、将来の胃がん発生を予防するため、義務教育年齢である中学3年生に対して、学校検尿などを利用したピロリ菌検査を実施した。(令和3年度から実施)

年 度	対 象 者 数	1次検査				2次検査			
		受診 者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性 者数 (人)	陽性率 (陽性者/ 受診者数)	受診 者数 (人)	受診率 (受診者数/ 対象者数)	陽性 者数	陽性率 (陽性者/ 受診者数)
令 和 3 年 度	3,045	2,688	88.3% (2,688/3,045)	98	3.6% (98/2,688)	56	57.1% (56/98)	23	41.1% (23/56)

2. 予防接種事業

1) 四日市市予防接種運営委員会

予防接種事業の円滑な運営及び予防接種事故の防止を図るため協議会を開催した。

開 催 日	委 員 会・部 会	議 事
令和3年6月29日(火)	四日市市予防接種運営委員会	令和2年度予防接種実績報告
令和4年1月21日(金)	四日市市予防接種運営委員会 第1回予防接種率向上部会	令和3年度予防接種実績報告 令和4年度予防接種予定について
令和4年2月18日(金)	予防接種健康被害調査専門部 会	新型コロナウイルス感染症ワクチンに おける健康被害調査

2) 予防接種者数と接種率について

接種状況

		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
		接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)	接種者数 (人)	接種率 (%)
ヒブ	1回目	2,208	102.6	2,172	92.5	2,392	101.4
	2回目	2,196	102.0	2,237	95.3	2,325	98.6
	3回目	2,126	98.8	2,313	98.6	2,286	96.9
	4回目	2,126	90.6	2,605	110.5	2,248	93.1
小児用肺炎 球菌	1回目	2,208	102.6	2,166	92.3	2,391	101.4
	2回目	2,201	102.3	2,206	94.0	2,357	100.0
	3回目	2,126	98.8	2,280	97.1	2,336	99.1
	4回目	2,085	88.8	2,443	103.6	2,320	96.1

B型肝炎	1回目	2,203	98.2	2,167	90.7	2,359	99.2
	2回目	2,193	97.8	2,204	92.3	2,334	98.1
	3回目	2,002	89.3	2,354	98.6	2,283	96.0
四種混合	1回目	2,210	102.7	2,196	93.6	2,376	100.8
	2回目	2,143	99.6	2,271	96.8	2,358	100.0
	3回目	2,107	97.9	2,320	98.8	2,374	100.7
	追加	2,230	95.0	2,479	105.1	2,415	100.0
二種混合（ジフテリア、破傷風）学童		2,217	81.5	2,472	89.7	2,351	85.8
不活化 ポリオ	1回目	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	2回目	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	3回目	0	0.0	1	0.0	0	0.0
	追加	0	0.0	0	0.0	3	0.1
BCG		2,064	92.0	2,308	96.6	2,346	98.7
麻しん 風しん混合 (MR)	1期	2,053	98.9	2,382	101.8	2,328	99.4
	2期	2,458	95.0	2,367	96.6	2,497	95.3
水ぼうそう	1～2歳児 1回目	2,031	97.9	2,416	103.2	2,338	99.8
	1～2歳児 2回目	2,205	106.3	2,257	96.5	2,223	94.9
麻しん	1期	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
風しん	1期	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	2期	0	0.0	0	0.0	0	0.0
日本脳炎	1期1回目	1,698	71.7	2,968	119.4	2,799	109.4
	1期2回目	1,789	75.5	3,080	123.9	2,837	110.9
	1期追加	1,397	55.9	2,734	106.2	2,845	115.9
	2期	1,332	49.5	3,318	120.3	3,409	126.0
HPV (子宮頸がん予防)	1回目	592	44.2	311	23.3	26	2.0
	2回目	512	38.2	201	15.0	22	1.7
	3回目	461	35.0	88	6.6	17	1.2
ロタリックス	1回目	1,703	75.9	717	30.0		
	2回目	1,700	75.8	566	23.7		
ロタテック	1回目	484	21.6	254	10.6		
	2回目	475	21.2	210	8.8		
	3回目	483	21.5	161	6.7		

合計	58,018		63,224		61,199	
----	--------	--	--------	--	--------	--

* 日本脳炎予防接種の特例について。

平成7年4月2日から平成19年4月1日に生まれた者で、20歳未満にある者は、第1期、第2期の不足分を接種可能。平成19年4月2日から平成21年10月1日に生まれた者は、9歳以上13歳未満で、第1期の不足分を接種可能。

* 日本脳炎ワクチンは、令和3年度の一部の期間において供給が見合わせられ、第1期1回目、2回目の接種優先とされていた。

* HPV ワクチンは、平成25年6月から積極的な勧奨を一時的に差し控えていたが、令和3年11月、「積極的勧奨を差し控えている状態を終了させることが妥当」とされ、令和4年2月以降積極的勧奨を実施。

* ロタウイルスワクチンは、令和2年8月以降に出生した児を対象に、令和2年10月より定期接種化された。

* 県外での接種を含む。

3) 予防接種県外医療機関等受診費用補助について

都合により、県内で定期予防接種を受けることができない場合に、滞在先の自治体または接種医療機関に接種の依頼を行い、接種後には接種費用に対する補助を行った。

県外医療機関等受診費用補助申請件数 (件)

年 度	補助申請件数 (件)
令和3年度	131
令和2年度	161
令和元年度	136

4) 任意予防接種費用助成について

(1) おたふくかぜ予防接種費用補助

1歳から4歳を対象に、一人につき1回、任意予防接種であるおたふくかぜワクチンの接種費用の一部助成を実施した。

利用件数 (件)

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
県内医療機関実施 (件)	1,876	2,400	2,263
県外接種費用補助申請 (件)	3	2	1
合計(件)	1,879	2,402	2,264

(2) 特別の理由による任意予防接種費用補助金

平成29年度より、骨髄移植手術等の理由により、既に接種済みの定期予防接種の予防効果が期待できないため、再度予防接種が必要であると判断された者に対し、当該予防接種に要する費用の助成を開始した。

利用状況

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
利用人数（人）	2	3	3
利用件数（件）	3	16	4

4. 医療費助成

1) 未熟児養育医療（未熟児対策）

出生時体重 2,000g 以下の新生児、その他入院養育を必要とする未熟児に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行った。

	申請・給付件数
令和3年度	101
令和2年度	90
令和元年度	103

2) 自立支援医療（育成医療）

身体に障害や疾患があり、手術等の医療により、確実な治療効果が期待される児童に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度。本市では、受給資格の認定を行っている。

	申請件数
令和3年度	54
令和2年度	61
令和元年度	74

3) 小児慢性特定疾患治療研究事業

小児慢性疾患のうち、国が指定した 16 の疾患群に対して、指定医療機関での医療に対し給付を行う制度。本市では、申請の受付、三重県桑名保健所への経由事務を行っている。

年度末現在認定者数（人）

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
総 数	262	295	280
1 悪性新生物	38	42	39
2 慢性腎疾患	21	25	26
3 慢性呼吸器疾患	21	22	20
4 慢性心疾患	38	46	46
5 内分泌疾患	37	45	43
6 膠原病	5	6	7
7 糖尿病	16	20	18
8 先天性代謝異常	7	6	7
9 血液疾患	8	10	11
10 免疫疾患	2	3	12

11 神経・筋疾患	31	33	29
12 慢性消化器疾患	29	30	17
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	7	5	4
14 皮膚疾患	0	0	0
15 骨系統疾患群	2	2	1
16 脈管系疾患群	0	0	0

5. 母子保健統計

※厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用（全国・三重県の数値は、厚生労働省「人口動態統計」より）

※市の数値はすべて日本人と外国人の合計値

1) 出生の状況

① 出生数

	令和2年	令和元年	平成30年
出生数(人)	2,106	2,287	2,320
率(人口千対)	6.8	7.3	7.4
人口(10月1日現在)(人)	311,716	311,470	312,258

② 低出生体重児出生数 (人)

		令和2年	令和元年	平成30年
低出生体重児数(2,500g未満)		209	211	197
率(出生百対)		9.5	8.9	8.2
参考	三重県(日本人のみ)(率)	8.7	9.3	9.0
	全国(日本人のみ)(率)	9.2	9.4	9.4

③ 極低出生体重児出生数 (人)

		令和2年	令和元年	平成30年
極低出生体重児数(1,500g未満)		24	17	16
率(出生百対)		1.09	0.72	0.67
参考	全国(日本人のみ)(率)	0.70	0.75	0.72

④ 多胎児出生の状況 (多胎児出生時体重) (人)

出生時体重	令和2年	令和元年	平成30年
1,000g未満	0	2	0
1,000g-1,500g未満	4	0	2
1,500g-2,000g未満	10	12	5
2,000g-2,500g未満	19	28	27
2,500g-3,000g未満	5	15	16
3,000g以上	0	3	3
計	38	60	53

⑤ 多胎児出生時の母親の年齢 (人)

年齢	令和2年	令和元年	平成30年
20 - 24歳	1	3	1
25 - 29歳	3	8	8
30 - 34歳	5	11	11
35 - 39歳	7	7	6
40歳以上	2	2	0
計	18	31	26

2) 妊産婦死亡数

		令和2年	令和元年	平成30年
妊産婦死亡数 (人)		0	0	0
出産数 (人)		2,234	2,433	2,464
率 (出産10万対)		0.0	0.0	0.0
参考	三重県 (日本人のみ) (率)	0.0	0.0	7.8
	全国 (日本人のみ) (率)	2.7	3.3	3.3

3) 死産数

		令和2年	令和元年	平成30年
死産数	自然死産数	18	27	30
	人工死産数	22	28	29
	総数	40	55	59
出産数		2,234	2,433	2,464
率 (出産千対)		17.9	22.6	23.9
参考	三重県 (日本人のみ) (率)	18.6	20.0	19.6
	全国 (日本人のみ) (率)	20.1	22.0	20.9

4) 新生児死亡数

		令和2年	令和元年	平成30年
新生児死亡数(人)		2	0	2
出生数(人)		2,194	2,368	2,405
率(出生千対)		0.9	0.0	0.8
参考	三重県(日本人のみ)(率)	1.3	0.3	0.7
	全国(日本人のみ)(率)	0.8	0.9	0.9

5) 乳児死亡数

		令和2年	令和元年	平成30年
乳児死亡数(人)		3	3	5
出生数(人)		2,194	2,368	2,405
率(出生千対)		1.4	1.3	0.8
参考	三重県(日本人のみ)(率)	2.4	1.4	1.7
	全国(日本人のみ)(率)	1.8	1.9	1.9

6) 1～4歳の死亡

		令和2年	令和元年	平成30年
1～4歳の死亡数		1	1	2
1～4歳人口(10月1日現在)		9,670	9,888	10,050
率(人口10万対)		10.3	10.1	19.9
参考	全国(日本人のみ)(率)	12.8	17.2	16.8

7) 不慮の事故による死亡

① 乳児

		令和2年	令和元年	平成30年
不慮の事故による死亡数(0歳)		0	0	1
出生数		2,194	2,368	2,405
率(人口10万対)		0	0	41.6
参考	全国(日本人のみ)(率)	6.9	8.7	7.0

② 1～4歳

		令和2年	令和元年	平成30年
不慮の事故による死亡数(1～4歳)		0	1	2
1～4歳人口(10月1日現在)		9,670	9,888	10,050
率(人口10万対)		0.0	10.1	19.9
参考	全国(日本人のみ)(率)	1.6	1.9	2.2

Ⅶ. 保健所内

1. 学生実習

地域保健活動の中核として、保健・医療・福祉分野に従事する人材育成のため実習受け入れを行った。

学校名	実習生数	実習期間	実習内容
三重大学医学部	新型コロナウイルス感染症の影響により、他市町での実習に変更となった。		
名古屋女子大学 (管理栄養士)	新型コロナウイルス感染症の影響により、各校にて学内実習に変更となった。		
名古屋学芸大学 (管理栄養士)			
金城学院大学 (管理栄養士)			
四日市看護医療大学	計 110 人	4 年生： 6 月 24 日 (42 人) 7 月 19 日 (14 人) 9 月 15 日 (14 人) 9 月 27 日 (40 人)	(1)～(4) 遠隔講義
三重県立看護大学	計 4 人	3 年生： 1) 2 月 14 日 (4 人) 2) 2 月 28 日 (4 人)	(1) (2) 遠隔講義
四日市医師会看護専門学校	新型コロナウイルス感染症の影響により、各校にて学内実習に変更となった。		
ユマニテク看護助産専門学校	計 30 名	12 月 13 日 (30 名) 講義	
三重県立公衆衛生学院 (歯科衛生士)	新型コロナウイルス感染症の影響により、各校にて学内実習に変更となった。		

2. 「1日看護体験」の実施

高校生が夏休みの1日を、医療機関において看護業務を体験することにより、看護の実際を理解し、看護職志望を促す機会を提供する。令和3年度は新型コロナウイルス感染症により中止。

保健衛生事業の概要

令和3年度実施
(令和4年度版)

編集・発行

四日市市 健康福祉部 保健予防課

四日市市諏訪町2番2号

電話 (059) 352-0590

ホームページ <http://www.city.yokkaichi.mie.jp>